

ECLIPSE[®]

Quick Guide



HDDナビゲーション内蔵
HDD/DVD/ワンセグ 7.0AVシステム

AVN7406HD

クイックガイド編



本書は、ご購入後すぐにお使いいただくために、目的別の代表操作と基本的な操作を説明しています。詳しい操作については、ナビゲーション編・オーディオ編の取扱説明書をご覧ください。

なお、実際の操作を行う前には、本書の「お使いになる前に」（17ページ～）を必ずお読みください。

また、本書はお読みになったあとも必要となしにすぐにご覧になれるよう大切に保管してください。

FUJITSU TEN

AVN7406HD

このたびは、AVN7406HDをお買い上げいただき、ありがとうございます。
このクイックガイド編では、はじめてAVN7406HDに触れる方が、簡単に操作を始めていただける方法を説明しています。

目的に合ったページをご覧くださいただければ、誰もが簡単にナビゲーションやオーディオの操作をしていただくことができます。このため本編では、基本的な操作についてのみ記載しています。

AVN7406HDに装備されたすべての機能を知りたい方は、本編をお読みになった後、付属のナビゲーション編・オーディオ編をお読みください。

さらに快適なカーライフを楽しんでいただくことができます。

さあ、それではAVN7406HDの説明を始めましょう。

はじめに、AVN7406HDを使う前に知っておいていただきたい3つの基本を説明します。

“MAIN MENU”から始まる操作

AVN7406HDの操作は実にシンプル！
画面下に配列されたパネルスイッチの中央に配置された **MENU** を押すと、MAIN MENU画面が表示されます。

“MAIN MENU”のあれこれ

MAIN MENU画面に表示される4つのタッチスイッチに触れて操作を始めましょう。



①SOURCEスイッチ：

オーディオのメニュー画面を表示するときタッチします。



②情報スイッチ：

ESN(ECLIPSE Security Network)と呼ばれるセキュリティ機能や各種情報機能のいろいろな設定をするときにタッチします。



③ナビメニュースイッチ：

ナビゲーションのメニュー画面を表示するときタッチします。



④目的地スイッチ：

ナビゲーションで目的地を設定するときタッチします。





電源の入れ方・切り方は？

オーディオの電源は、MAIN MENU画面の **⓪PWR** にタッチして、ON/OFFの操作をします。ナビゲーションの電源は、車のエンジンをかけるとON、エンジンを切るとOFFになります。



3つの基本は以上です。

次に、AVN7406HDの特長を2つ紹介しておきます。

地上デジタル放送で安定した映像がすぐ楽しめるワンセグ

AVN7406HDは、ワンセグ放送受信チューナを内蔵しております。地デジならではの、乱れない安定した映像を7.0型ワイドモニターの大画面で手軽にお楽しみください。



フロントアイカメラ(別売)

見通しの悪い交差点や出庫時の周辺状況の本機の画面に映して確認できるため、出会い頭の事故などを防止します。



さあ、それではAVN7406HDのナビゲーション・オーディオの操作をしてみましょう。

次ページからの説明では、「ともかく使ってみる」ための以下の代表的な操作方法を説明しています。

- ナビゲーションさせる
- TV・ワンセグを見る
- DVDを見る
- ラジオを聞く
- 音楽を聴く
- 音楽・音声を録音する

次ページへGO

※ 実際の操作を行う前には「お使いになる前に」(18ページ~)を必ずお読みください。

さあ、始めましょう！

目的の操作を選び、準備ができれば該当ページへ進んでください。

どの操作をしてみますか

基本操作はこれだけ

● ナビゲーションをさせる

▶ ナビゲーション操作の該当ページにはこのアイコンが表示されています。



行き先を決める

ルートを決める

案内を開始する

● TV・ワンセグ放送を見る

▶ TV・ワンセグ放送を見る操作の該当ページにはこのアイコンが表示されています。



TVソースを選ぶ

放送局を選ぶ

音量を調整する

● DVDを見る

▶ DVDを見る操作の該当ページにはこのアイコンが表示されています。



DVDを準備する

DVDソースを選ぶ

音量を調整する

● ラジオを聞く

▶ ラジオを聞く操作の該当ページにはこのアイコンが表示されています。



ラジオソースを選ぶ

放送局を選ぶ

音量を調整する

● 音楽を聴く

▶ 音楽を聴く操作の該当ページにはこのアイコンが表示されています。



オーディオソースを準備する

オーディオソースを選ぶ

聴きたい曲を選ぶ

音量を調整する

● 音楽を録音する

▶ 音楽を録音する操作の該当ページにはこのアイコンが表示されています。



録音モードを選ぶ

録音するソースを選ぶ

録音を開始する

※実際の操作を行う前には「お使いになる前に」(18ページ)を必ずお読みください。

次の画面を表示させておきましょう

該当ページへ

MAIN MENU画面で
目的地 にタッチして、
目的地画面を表示させて
おきます。



準備ができたなら…

P6へGO!

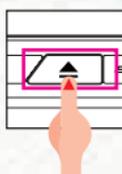
MAIN MENU画面で
SOURCE にタッチ
して、SOURCE画面を
表示させておきます。



準備ができたなら…

P8へGO!

はじめにパネルスイ
ッチの ▲ を押して、TILT
EJECT画面を表示させ
ておきます。



準備ができたなら…

P10へGO!

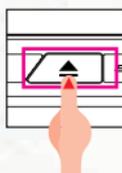
MAIN MENU画面で
SOURCE にタッチ
して、SOURCE画面を
表示させておきます。



準備ができたなら…

P12へGO!

はじめにパネルスイ
ッチの ▲ を押して、TILT
EJECT画面を表示させ
ておきます。



準備ができたなら…

P14へGO!

MAIN MENU画面で
SOURCE にタッチ
して、SOURCE画面を
表示させておきます。



準備ができたなら…

P16へGO!

ナビゲーションをさせる

ここでは、目的地画面で行き先を決め、推奨ルートで案内を開始する方法を説明します。各ステップのその他の操作や関連事項は、「こんなこと・あんなこと」を参照してください。

ステップ

表示画面

行き先を決める

1

- ① 目的地画面で行き先を探す方法を選択し、目的地を探索します。探索が終了すると、目的地周辺の地図が表示されます。
- ② 画面の矢印にタッチして、マークの中心に行き先を合わせます。
- ③ **目的地セット** にタッチします。
マークの位置に マークが表示されます。



ルートを決める

2

- 1の操作で行き先を決めると、ルートの検索を開始し、画面に渋滞考慮ルート(または推奨ルート)を表示します。
このルートでよければ、ここでは何も操作しません。



案内を開始する

3

- ① **案内開始** にタッチします。
現在地の画面が表示され、案内が開始されます。(ルート案内画面の詳細はP41を参照してください。)



ナビゲーションをさらに快適にするため、次の各種設定があります。

車の情報を登録する

お車のナンバープレートの分類や車両寸法を登録しておく、案内時の料金計算や、施設周辺の駐車場を探すときの基準となります。

P52参照



時計を表示する

GPS時計を地図画面に表示します。

P53参照



音量を調整する

操作の手引きやルート案内の音量を調整します。

P54参照



画面を非表示にする

地図画面を非表示にします。

P54参照



現在地を補正する

タイヤ交換時などに発生する自転車位置マークのずれなどを補正します。

P55参照



1 行き先を決める

- 自分の車の位置を確認する。 P26参照 ▶
- 地図の縮尺を変更して行き先を探す。 P26参照 ▶
- 行き先を登録地点から選ぶ。(自宅の場合) P27参照 ▶
- 行き先を登録地点から選ぶ。(任意の地点の場合) P31参照 ▶
- 行き先を主要施設から探す。 P34参照 ▶
- 行き先を電話番号から探す。 P35参照 ▶

2 ルートを決める

- ルートの中の道を確認する。 P37参照 ▶
- ほかのルートを選ぶ。 P38参照 ▶
- ルートの途中に立ち寄り場所を追加する。 P39参照 ▶
- 任意のルートを設定する。 P40参照 ▶

3 案内を開始する

- 案内を途中で中止・再開する。 P43参照 ▶
- 行き先を消去する。 P44参照 ▶
- 地図の向きを変える。 P45参照 ▶
- 地図の表示方法を変える。 P45参照 ▶
- 地図にいろいろな施設のマークを表示する。 P46参照 ▶
- 渋滞情報を表示する。(VICS機能) P47参照 ▶

TV・ワンセグ放送を見る

ここでは、オーディオソースからTV、またはワンセグを選択し、現在受信可能な番組を見るまでの方法を説明します。各ステップのその他の操作や関連事項は、「こんなこと・あんなこと」を参照してください。

ステップ

表示画面

1 TVソースを選ぶ

1

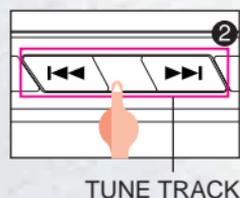
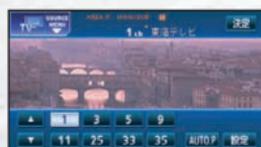
- 1 SOURCE 画面で、**TV**、または**ワンセグ** にタッチします。
TV画面が表示されます。



2 放送局を選ぶ

2

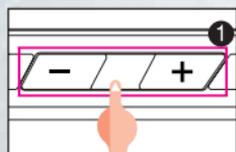
- 1 TV画面または **AV** を押します。
TV操作画面が表示されます。
- 2 パネルスイッチのTUNE TRACK/ **▶▶** または **◀◀** を押して、見たい放送局の周波数に合わせます。
- 3 軽く押すと、周波数が1ステップずつ切り替わります。
- 4 “ピッ”と音がするまで押すと、現在表示されている周波数に一番近い放送局を選局します。途中で止める場合は、もう一度押します。



3 音量を調整する

3

- 1 パネルスイッチの **+** または **-** を押して、音量を調整します。



4 TVを止める

4

- 1 MAIN MENU 画面で **PWR** にタッチします。





こんなこと・あんなこと

参照ページ

1 TVソースを選ぶ

- 画面の表示サイズを切り替える。

P58参照 ▶

2 放送局を選ぶ

- よく見る放送局を記憶する。

P65参照 ▶

3 音量を調整する

- 二カ国語同時放送の音声を切り替える。

P67参照 ▶

- 番組に合わせて音質を変える。(イコライザ)

P67参照 ▶

- 座席に合わせて音場の中心を変える。

P69参照 ▶

- 前後左右の音量バランスを変える。

P70参照 ▶

- スイッチの操作音を変える。

P70参照 ▶

4 TVを止める

- もう一度TVを見る。

P71参照 ▶

- ほかのオーディオソースからTVに切り替える。

P62参照 ▶

DVDを見る

ここでは、見たいDVDを準備し、オーディオソースからDVDを選択してDVDビデオを再生するまでの方法を説明します。各ステップのその他の操作や関連事項は、「こんなこと・あんなこと」を参照してください。

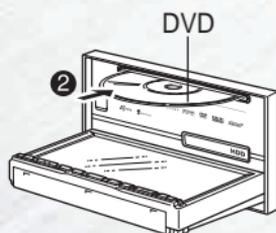
ステップ

表示画面

DVDを準備する

1

- ① TILT EJECT画面で、**DISC** にタッチします。
ディスプレイ部が開き、DVDの差し込み口が現れます。
- ② 差し込み口にDVDディスクを差し込みます。
DVDディスク差し込み後、ディスプレイ部が自動で閉じます。
DVDディスクを差し込んだときは、この操作で再生を始めます。



ラベル面を上にして挿入してください。

DVDソースを選ぶ

2

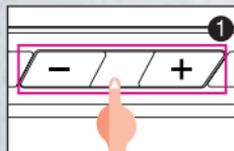
- すでにDVDディスクが差し込まれている場合は、以下の操作でDVDソースを選びます。
- ① MAIN MENU画面で **SOURCE** にタッチします。
 - ② SOURCE画面で、**DISC** にタッチします。
DVDの再生が始まります



音量を調整する

3

- ① パネルスイッチの **+** または **-** を押して、音量を調整します。



DVDを止める

4

- ① MAIN MENU 画面で **PWR** にタッチします。





DVD

こんなこと・あんなこと

参照ページ

1 DVDを準備する

- DVDまたはCDを取り出す。

P59参照 ▶

2 DVDソースを選ぶ

- 映像を操作する。
(一時停止/停止/スロー再生/コマ送り再生)

P72参照 ▶

- 見たいチャプターを選ぶ。

P72参照 ▶

- ディスクメニューを操作する。

P72参照 ▶

- 画面の表示サイズを切り替える。

P58参照 ▶

3 音量を調整する

- DVD内容に合わせて音質を変える。(イコライザ)

P67参照 ▶

- 座席に合わせて音場の中心を変える。

P69参照 ▶

- 前後左右の音量バランスを変える。

P70参照 ▶

- スイッチの操作音を変える。

P70参照 ▶

4 DVDを止める

- もう一度DVDを見る。

P71参照 ▶

- ほかのオーディオソースからDVDに切り替える。

P62参照 ▶

再生できるDVD

AVN7406HDでは、右記のDVDが再生できます。



P60参照 ▶

ラジオを聞く

ここでは、オーディオソースからAMラジオまたはFMラジオを選択し、現在受信可能な番組を聞くまでの方法を説明します。各ステップのその他の操作や関連事項は、「こんなこと・あんなこと」を参照してください。

ステップ

表示画面

ラジオソースを選ぶ

1

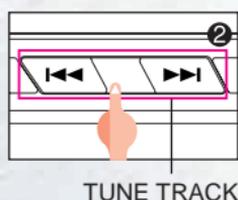
- 1 SOURCE画面で、**AM** または **FM** にタッチします。
ラジオソース選択後、MAIN MENU画面が表示されます。



放送局を選ぶ

2

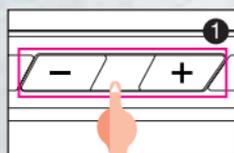
- 1 **AV** を押します。
ラジオ操作画面が表示されます。
- 2 パネルスイッチのTUNE TRACK/ **▶▶** または **◀◀** を押して、聞きたい放送局の周波数に合わせます。
- 3 軽く押すと、周波数が1ステップずつ切り替わります。
- 4 “ピッ”と音がするまで押すと、現在表示されている周波数に一番近い放送局を選局します。途中で止める場合は、もう一度押します。



音量を調整する

3

- 1 パネルスイッチの **+** または **-** を押して、音量を調整します。



ラジオを止める

4

- 1 MAIN MENU 画面で **PWR** にタッチします。





RADIO

こんなこと・あんなこと

参照ページ

1 放送局を選ぶ

- よく聞く放送局を記憶する。 P66参照 ▶
- 受信可能な放送局を一時的に記憶する。 P66参照 ▶

2 音量を調整する

- 番組に合わせて音質を変える。(イコライザ) P67参照 ▶
- 座席に合わせて音場の中心を変える。 P69参照 ▶
- 前後左右の音量バランスを変える。 P70参照 ▶
- スイッチの操作音を変える。 P70参照 ▶

3 ラジオを止める

- もう一度ラジオを聞く。 P71参照 ▶
- ほかのオーディオソースからラジオに切り替える。 P62参照 ▶

音楽を聴く

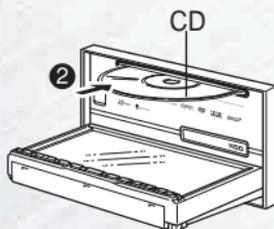
ここでは、聴きたいCDを準備し、オーディオソースからCDを選択してCDを再生するまでの方法を説明します。各ステップのその他の操作や関連事項は、「こんなこと・あんなこと」を参照してください。

ステップ

表示画面

CDを準備する

- 1 **①** TILT EJECT画面で、**DISC** にタッチします。
ディスプレイ部が開き、CDの差し込み口が現れます。
差し込み口にCDディスクを差し込みます。
- 2 **②** CDディスク差し込み後、ディスプレイ部が自動で閉じます。
CDディスクを差し込んだときは、この操作で再生を始めます。



ラベル面を上にして挿入してください。

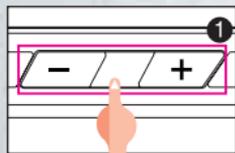
CDソースを選ぶ

- すでにCDディスクが差し込まれている場合は、以下の操作でCDソースを選びます。
- 2 **①** MAIN MENU画面で **SOURCE** にタッチします。
 - 2 **②** SOURCE画面で、**DISC** にタッチします。
CDの再生が始まります。
ディスクソース選択後、MAIN MENU画面が表示されます。



音量を調整する

- 3 **①** パネルスイッチの **+** または **-** を押して、音量を調整します。



CDを止める

- 4 **①** MAIN MENU 画面で **PWR** にタッチします。





MUSIC

こんなこと・あんなこと

参照ページ

1 CDを準備する

- CDまたはDVDを取り出す。

P59参照 ▶

2 CDソースを選ぶ

- 聴きたい曲を選ぶ。

P73参照 ▶

- 同じ曲を繰り返し再生する。

P73参照 ▶

- CDに収録されたMP3/WMAの音楽ファイルを聴く。

P74参照 ▶

3 音量を調整する

- 音楽に合わせて音質を変える。(イコライザ)

P67参照 ▶

- 座席に合わせて音場の中心を変える。

P69参照 ▶

- 前後左右の音量バランスを変える。

P70参照 ▶

- スイッチの操作音を変える。

P70参照 ▶

4 CDを止める

- もう一度CDを聴く。

P71参照 ▶

- ほかのオーディオソースからCDに切り替える。

P62参照 ▶

再生できるCD

AVN7406HDでは、右記のCDが再生できます。



P60参照 ▶

音楽を録音する

ここでは、音楽CD内の曲を選択し、4倍速でMUSIC JUKEに録音する方法を説明します。各ステップのその他の操作や関連事項は、「こんなこと・あんなこと」を参照してください。

ステップ

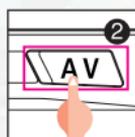
表示画面

録音モードを選ぶ

① SOURCE画面で、**MUSIC JUKE** にタッチします。



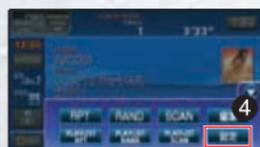
② AV を押します。
操作画面が表示されます。



③ **機能** にタッチします。



④ **設定** にタッチします。



⑤ **SELECT** にタッチします。

⑥ **戻る** にタッチします。



1

録音するソースを選ぶ

① MAIN MENU画面で **SOURCE** にタッチします。



2

② SOURCE画面で、**DISC** にタッチします。
CDが準備されていない場合は、「音楽を聴く(P14)」を参照して、CDを準備してください。



ステップ

表示画面

録音を開始する

① MAIN MENU画面で **REC** に1秒以上タッチします。



② 録音する曲(トラック)を選びます。

③ **開始** にタッチします。

選択した曲が再生され、4倍速で録音を開始します。



3

録音を途中で止める

① 録音中にMAIN MENU画面で **REC** に1秒以上タッチします。



4

こんなこと・あんなこと

参照ページ

1 録音モードを選ぶ

- CD再生と同時に自動録音する。

P75参照 ▶

2 録音するソースを選ぶ

- MUSIC JUKEの各種画面について。
- オートタイトリング機能について。

P77参照 ▶

P78参照 ▶

《録音後の操作》

- MUSIC JUKEで録音した曲を再生する。
- MUSIC JUKEでアルバムリストを作成する。
- MUSIC JUKEの再生を止める。

P79参照 ▶

P81参照 ▶

P81参照 ▶

安全にお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様やほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本機のために必ず守っていただきたいことや、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。



アドバイス

本機の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと
本機が故障したときにしていただきたいこと



ワンポイント

知っておくと便利なこと
知っておいていただきたいこと

- 製品に添付されている各種説明書や保証書などは必ずお読みください。これらの指示を守らなかったことによる不具合に対しては、当社は責任を負いかねます。
- 取扱説明書で使用されている画面と実際の画面は、データベースの作成時期・種類等によって異なることがあります。

本書はやさしく取り扱ってください。

無理に広げたり引っ張ったりするとページがバラバラになってしまう場合があります。やさしい取り扱いをお願いします。

安全上のご注意



警告

- 本機は DC12V ⊖ アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様様のディーゼル車などの 24V 車で使用しないでください。火災の原因となります。
- ナビゲーションによるルート案内時も、実際の交通規制に従って走行してください。ナビゲーションによるルート案内のみに従って走行すると実際の交通規制に反する可能性があり、交通事故の原因となります。
- 安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあります。車を停車させてから操作をしてください。なお、走行中に画面を注視しないでください。運転者が走行中、画面を注視することは法律で禁止されています。前方不注意となり事故の原因となります。
- 運転者は走行中に音量調整などの操作をしないでください。前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 運転者は走行中にディスクの切り替えをしないでください。前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 運転者は走行中に地点登録・メモリ設定などの操作をしないでください。前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 運転者がテレビやビデオなどを見るときは必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキを使用してください。テレビやビデオは安全のため走行中は表示されません。
- ディスク差し込み口に異物を入れないでください。火災や感電の原因となります。
- 本機および HDD（ハードディスクドライブ）を分解したり、改造しないでください。事故、火災、感電の原因となります。
- 機器内部に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。
- 画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。事故、火災、感電の原因となります。
- ヒューズを交換する時は、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用してください。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなど異常が起こったら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談してください。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- 雷が鳴りだしたら、アンテナ線や本機に触れないでください。落雷により感電の危険性があります。
- 本機を使用するために禁止された場所に駐・停車しないでください。



注意

- 本機はエンジンスイッチがONまたはACCのとき使用できますが、バッテリー保護のため、エンジンをかけた状態でご使用ください。
- 本機を車載用以外としては使用しないでください。感電やけがの原因となることがあります。
- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用してください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- 電源 ON 時は、ボリュームに注意してください。電源 ON 時に突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。
- ディスク差し込み口に手や指を入れないでください。けがの原因となることがあります。
- ディスプレイの収納や角度調整時に、手や指を挟まないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。
- 本機の放熱部に手を触れないでください。放熱部の熱でやけどをする場合があります。
- 本機の取り付け場所変更時は安全のため必ずお求めの販売店へ依頼してください。取り外し、取り付けには専門技術が必要です。
- 音声割れる、歪むなどの異常状態で使用しないでください。火災の原因となることがあります。
- 当該液晶ディスプレイパネルは蛍光管が組み込まれていますので、地方自治体の条例、または、規則にしたがって廃棄してください。
- 極端な高温や低温でのご使用は誤作動や故障の原因となります。とくに夏期は車内が高温になることがありますので、窓を開けるなどして温度を下げてからご使用ください。
- 本機の中に金属や水が入ったり、強い衝撃が加わると故障の原因となりますのでご注意ください。
- ディスク等を取り出すときや、チルト位置を設定する際に、下記に注意してください。

< A / T 車の場合 >

- ディスク等を取り出す際、P レンジで干渉する場合は N レンジに切り替えてから操作してください。(コラム A / T の場合は P または N レンジで操作してください。)
- チルト位置を設定する際、P または R、N レンジで手などが干渉しないように設定しご使用ください。(走行レンジで干渉する場合はチルト位置の設定はしないでください。)

< M / T 車の場合 >

- ディスク等を取り出す際、1・3・5・® ポジションで干渉する場合はニュートラルに切り替えてから操作してください。但し、走行中は操作しないでください。
- チルト位置を設定する際、1・3・5・® ポジションで手などが干渉しないように設定しご使用ください。(干渉する場合はチルト位置の設定はしないでください。)



アドバイス

- 走行中操作できないものは走行状態になると色がトーンダウンし、操作できません。また、操作できないスイッチにタッチすると、画面に操作禁止メッセージが表示されます。
 - 悪路走行中などの振動の激しい場合は、ディスクのデータを読み取れなくなり正常に作動しないことがあります。振動が静まり、しばらくすると正常にもどります。
 - 気温が低いときにヒーターをつけた直後では、CD及びDVD読み取り部のレンズに露（水滴）が付くこと（結露）があります。このようなときは1時間ほどそのままの状態では放置しておけば結露が取り除かれ、正常に作動するようになります。何時間たっても正常にもどらない場合は、販売店にご相談ください。
 - 本機をお買いあげ後、初めてご使用になるときや長時間バッテリーをはずしておいた場合などは、現在地を正しく表示しないことがあります。しばらくするとGPSの測位によって表示位置などが修正されます。
 - 本機は精密機器であり、静電気、電氣的なノイズ、振動等により記録されたデータが消失する場合があります。お買いあげ後、お客様が本機に記録されるデータにつきましては、データ消失の場合にそなえて、別にメモをとるなどして保管してください。
 - なお、以下のような場合、保証はいたしかねますので、予めご了承ください。
 - ① 本機の故障、誤作動、または不具合等により、あるいは本機が電氣的なノイズの影響等を受けたことにより、お客様が記録されたハードディスクドライブ内のデータ等が変化・消失した場合。
 - ② お客様、または第三者が本機の使用を誤ったことにより、ハードディスクドライブ内の地図データや基本プログラム、お客様が本機に記録されたデータ等が変化・消失した場合。
 - ③ 本機の故障・修理に際し、お客様が記録されたハードディスクドライブ内のデータ等が変化・消失した場合。
- ※ なお、本機を装着もしくはご使用されたときは、上記の内容を承認されたものとみなさせていただきます。
- 本機は他の電装品からの電氣的ノイズに対して影響を受けにくい構造になっておりますが、強力なノイズを発生する電装品があり、本機のそばで使用された場合、画面の乱れ、雑音等の誤作動をすることがあります。その場合は、原因と思われる電装品の使用をやめてください。

目次

行き先を決める

自分の車の位置を確認する	26
地図の縮尺を変更して行き先を探す	26
行き先を登録地点から選ぶ（自宅の場合）	27
はじめに自宅を登録する	27
行き先に自宅を設定する	30
行き先を登録地点から選ぶ（任意の地点の場合）	31
はじめに任意の地点を登録する	31
登録地点から行き先を設定する	34
行き先を主要施設から探す	34
行き先を電話番号から探す	35

ルートを決める

ルートの道のりを確認する	37
ほかのルートを選ぶ	38
ルートの途中に立ち寄り場所を追加する	39
任意のルートを設定する	40

案内を開始する

ルート案内画面の詳細	41
ルート案内中の現在地画面	41
音声によるルートの案内	42
案内を開始する	43
案内を途中で中止・再開する	43
案内を中止する	43
案内を再開する	44
行き先を消去する	44
地図の向きを変える	45
地図の表示方法を変える	45
地図にいろいろな施設のマークを表示する	46
渋滞情報を表示する（VICS 機能）	47
渋滞情報を確認するには（VICS 機能）	47
VICS 画面の見方について	50
地図に表示される VICS 表示マークについて	51

各種設定画面を見る

車の情報（ナンバープレートの分類、車両寸法）を登録する	52
時計を表示する	53
ナビゲーションの音量を調整する	54
画面を非表示にする	54
現在地を補正する	55
現在地の修正	55
距離の補正	56

画面表示を切り替える

画面の表示サイズを切り替える	58
----------------	----

オーディオメディアについて

各ディスク（CD、DVD）の出し方	59
各ディスク（DVD・CD）について	60

オーディオソースを切り替える

オーディオソースを切り替える	62
パネルスイッチで切り替える	62
タッチスイッチで切り替える	63

放送局を選ぶ

TVの放送局を操作する	65
よく見る放送局を記憶する	65
受信可能な放送局を一時的に記憶する	65
ラジオの放送局を操作する	66
よく聞く放送局を記憶する	66
受信可能な放送局を一時的に記憶する	66

音について操作する

二ヶ国語同時放送の音声を切り替える	67
音質を変える（イコライザ）	67
設定されているイコライザカーブを選択する	67
イコライザカーブを作成する	68
座席に合わせて音場の中心を変える	69
前後左右の音量バランスを調整する	70
スイッチの操作（“ピツ”）を変える	70

目次

停止したオーディオソースを再開する

もう一度、見る・聴く	71
TV・DVD	71
ラジオ・CD・MP3/WMA・MUSIC JUKE	71

DVD を操作する

映像を操作する（一時停止 / 停止 / スロー再生 / コマ送り再生）…	72
見たいチャプターを選ぶ	72
ディスクメニューを操作する	72
メニューのアイコンにタッチして操作する	73
タッチスイッチから操作する	73

音楽を聴く

聴きたい曲または音楽ファイルを選ぶ	73
同じ曲を繰り返し再生する	73
MP3/WMA を聴く	74
MP3/WMA を再生する	74
簡単にフォルダや音楽ファイルを選ぶ	74

MUSIC JUKE を操作する

録音モードについて	75
CD 再生と同時に自動録音する	75
録音モードを切り替える	76
MUSIC JUKE の各種画面について	77
録音画面の見方	77
操作画面の見方	77
オートタイトリング機能について	78
MUSIC JUKE に録音した曲を再生する	79
MUSIC JUKE を再生する	79
聴きたいトラック（曲）を選ぶ	79
再生を止める	81
MUSIC JUKE でアルバムリストを作成する	81
オリジナルプレイリストを作成する	81

ESN を操作する

ESN (ECLIPSE Security Network) について	84
ESN セキュリティを作動させる	84
ESN セキュリティロックを解除する (本機を操作できるようにする)	85
ESN セキュリティシステムを作動させなくする	86
セキュリティインジケータの表示を設定する	86

ご参考に

凡例	91
----	----

行き先を決める

自分の車の位置を確認する

MAP を押すと、自分の車の現在地周辺を表示します。



自転車位置マーク

現在地と車が向いている方向が表示されます。車の走行に合わせて自動的に自転車位置マークと地図が動きます。

現在地画面の見方



① 方位マーク

地図の方向が表示されます。

② スケール表示

表示されている地図の縮尺が表示されます。┌──┐の長さがこの場合は 100m です。

③ GPS マーク

GPS 衛星からの絶対位置情報が受信されているときに、GPS が表示されます。

GPS : 受信状態のとき

④ 現在地の地名

現在地で **MAP** を押すと表示されます。

⑤ 自転車位置マーク

⑥ タッチスイッチ

画面によって各機能のスイッチが表示されます。

地図の縮尺を変更して行き先を探す

詳細表示

詳細 にタッチすると地図の縮尺が小さくなり詳しい地図が表示されます。



スケールバー

数字にタッチすると数字の縮尺に替わります。



市街図 にタッチすると50mスケールの市街図が表示されます。

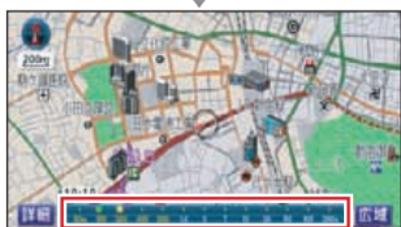


市街図では **詳細** にタッチすると25mスケールに切り替わります。



広域表示

広域 にタッチすると、地図の縮尺が大きくなり広い範囲が表示されます。



スケールバー

数字にタッチすると数字の縮尺に替わります。

詳細、**広域** にタッチするごとに1段階ずつ切り替わります。

詳細、**広域** を約1秒以上タッチし続けると、無段階[※]に切り替わります。(※市街図では切り替わりません)

行き先を登録地点から選ぶ (自宅の場合)

■ はじめに自宅を登録する

自宅にいるときは



MAP を押して、自宅付近の地図を表示してから操作してください。

1. MAIN MENU 画面で

ナビメニュー にタッチします。



2. メモリ地点 にタッチします。



3. 登録 にタッチします。



4. 先程の地図 にタッチします。

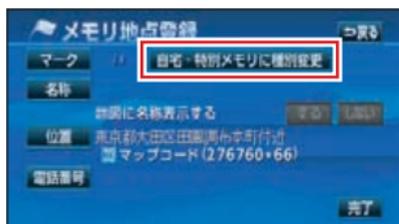


行き先を決める

5. **セット** にタッチします。



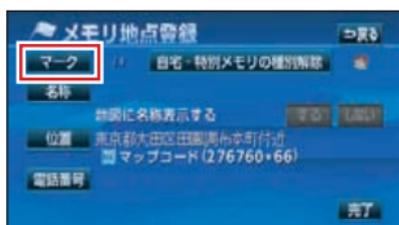
6. **自宅・特別メモリに種別変更** にタッチします。



7. 自宅の**未登録** にタッチします。



8. **マーク** にタッチします。

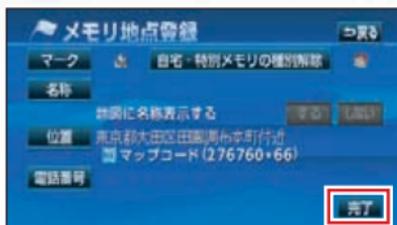


9. 地図に登録する**マーク**にタッチします。



マーク2、マーク3、音声付きにタッチすると、ちがうマークを選ぶことができます。詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「メモリ地点のマークを変更する」を参照してください。

10. **完了** にタッチします。



11. **MAP** を押します。



現在地を表示します。

自宅以外にいるときは

1. MAIN MENU 画面で **ナビメニュー** にタッチします。



2. **メモリ地点** にタッチします。



3. **登録**にタッチします。



4. **住所**にタッチします。



5. **都道府県・市区町村・町名・丁目(字)**の順にタッチします。



▲前、▼次、▲50音、

▼50音、あ～わにタッチすると、画面を切り替えることができます。詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「リスト画面の切り替え方」を参照してください。

6. **丁目(字)**にタッチしたあと**番地指定**にタッチします。



7. 数字、または- (ハイフン) を1つずつタッチ入力し、**完了**にタッチします。



間違えたときは**修正**にタッチすると、1つずつ消去されます。

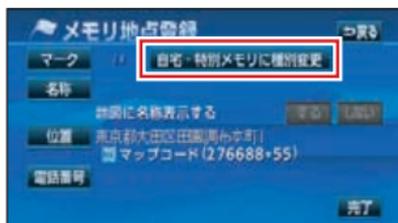
8. **↑**にタッチして自宅の位置に合わせます。



9. **セット**にタッチします。



10. **自宅・特別メモリに種別変更**にタッチします。

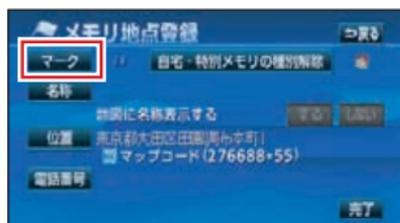


行き先を決める

11. 自宅の**未登録**にタッチします。



12. **マーク**にタッチします。

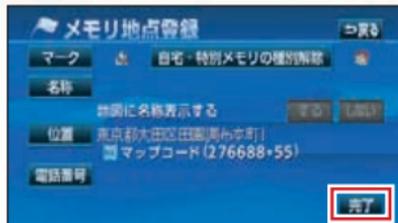


13. 地図に登録する**マーク**にタッチします。



マーク2、**マーク3**、**音声付き**にタッチすると、ちがう**マーク**を選ぶことができます。詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「メモリ地点のマークを変更する」を参照してください

14. **完了**にタッチします。



15. **MAP**を押します。



現在地を表示します。

■ 行き先に自宅を設定する

1. MAIN MENU 画面で **目的地**にタッチします。



2. **自宅に帰る**にタッチします。



 **MAP** を 1 秒以上押しても目的地設定画面が表示されます。

行き先を登録地点から選ぶ (任意の地点の場合)

■はじめに任意の地点を登録する

任意の地点は、500カ所（自宅・特別メモリを含む）まで登録することができます。

任意の地点を登録すると地図に旗（)などのマークを表示することができます。

地図から登録するには

1. 地図にタッチして \oplus マークを登録する場所に移動します。
現在地を登録するときは地図を移動する必要はありません。
2. **地点登録**にタッチします。



地図を移動していないときは \oplus 、移動したときは \oplus の位置を旗マークで登録します。

3. **MAP**を押します。



現在地を表示します。

離れた場所を登録するには

兵庫県、姫路市の姫路城を登録する場合

1. MAIN MENU 画面で

ナビメニュー にタッチします。



2. **メモリ地点** にタッチします。



3. **登録** にタッチします。



4. **50音・名称** にタッチします。



5. **名称で検索** にタッチします。

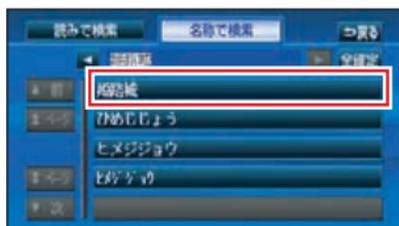


行き先を決める

6. ひ、め、し、し、よ、う、変換の順にタッチします。



7. 姫路城にタッチします。



8. 完了にタッチします。



9. 絞り込み にタッチします。



名称/読み、ジャンルやエリア

から候補を絞り込んで探すことができます。候補地が1件に絞り込まれた場合は手順18に進みます。AND にタッチすると、さらに詳しく絞り込むことができます。詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「50音・名称で地図を呼び出す」を参照してください。

10. ジャンル にタッチします。



11. リストを切り替えて、文化施設 にタッチします。



12. リストを切り替えて城・城跡 にタッチし、完了 にタッチします。



13. 選択完了 にタッチします。



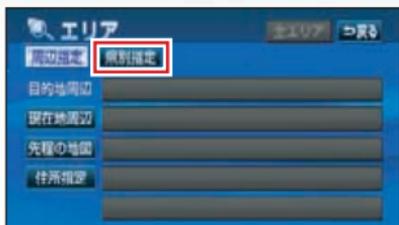
14. 絞り込み にタッチします。



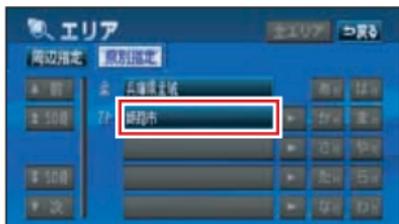
15. エリア にタッチします。



16. 県別指定 にタッチします。



17. リストを切り替えて、兵庫県、姫路市 の順にタッチします。



▲前、▼次、▲50音、▼50音、あ～わ にタッチすると、画面を切り替えることができます。詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「リスト画面の切り替え方」を参照してください。

18. リストの 姫路城 / 兵庫県姫路市 にタッチします。

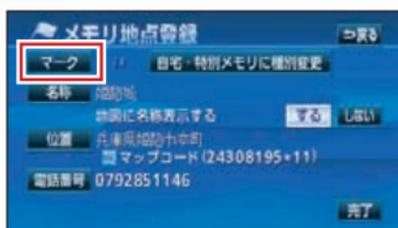


19. セット にタッチします。



↑ にタッチすると地図を移動することができます。

20. マーク にタッチします。

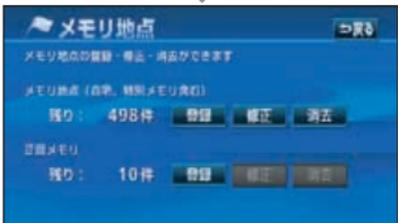
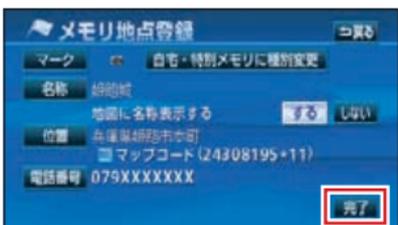


21. 地図に登録するマークにタッチします。



マーク2、マーク3、音声付き、施設マーク にタッチすると、ちがうマークを選ぶことができます。詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「メモリ地点のマークを変更する」を参照してください。

22. 完了 にタッチします。



23. MAP を押します。



現在地を表示します。

行き先を決める

■ 登録地点から行き先を設定する

1. MAIN MENU 画面で **目的地** にタッチします。



2. **メモリ地点** にタッチします。



3. 行き先に設定するメモリ地点にタッチします。



メモリ地点の地図が表示されます。

4. **目的地セット** にタッチします。



行き先を主要施設から探す

東京都の上野動物園を探す場合

1. MAIN MENU 画面で **目的地** にタッチします。



2. **主要施設** にタッチします。



3. **遊び** にタッチし、リストを切り替えます。



4. リストを切り替えて **動物園** にタッチします。

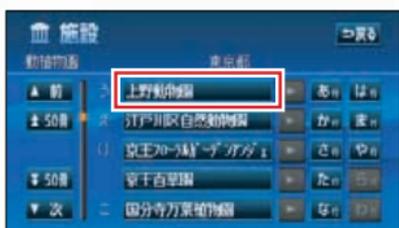


5. リストを切り替えて **東京都** にタッチします。



6. リストを切り替えて

上野動物園 にタッチします。



7.  にタッチして地図を移動します。



位置を移動しないときは 8 の手順を操作します。

8. **目的地セット** にタッチします。



MAP を 1 秒以上押しても目的地設定画面が表示されます。

行き先を電話番号から探す

1. MAIN MENU 画面で **目的地** にタッチします。



2. **電話番号** にタッチします。

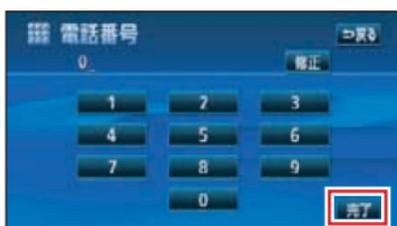


3. 市外局番から数字を 1 番号ずつタッチして入力します。



- 間違えたときは **修正** にタッチして消去します。
- 市外局番と市内局番の入力のみのときは、**完了** にタッチして、6 の手順を操作します。
- 個人宅の電話番号を入力したときは、**10** の手順を操作します。(地図データに収録されているときに限ります。)

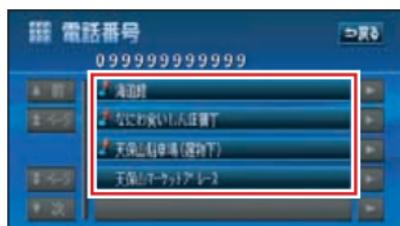
4. **完了** にタッチします。



- 入力した電話番号に該当する施設があるときは11の手順を操作します。

行き先を決める／ルートを決める

- 入力した電話番号に複数の施設が該当するときは5の手順を操作します。
 - 入力した電話番号に該当する施設がないときは市外・市内局番に該当する地域の地図が表示され、6の手順を操作します。
5. 該当する**施設名**にタッチします。



施設の地図が表示され11の手順を操作します。

6. **住所一覧**にタッチします。



7. 該当する**住所**にタッチします。



- 住所の地図が表示され11の手順を操作します。
- 番地を入力して該当する番地がないときは8の手順を操作します。

8. **周辺住所**にタッチします。



9. 該当する**番地**にタッチします。



番地の地図が表示され11の手順を操作します。

10. 個人宅の名称(名字)を1文字ずつタッチ入力し、**完了**にタッチします。



- 該当する個人宅がないときは市外・市内局番に該当する地域の地図が表示され、6の手順を操作します。
 - 個人宅の地図が表示され、11の手順を操作します。
11. **目的地セット**にタッチします。



MAP を1秒以上押しても目的地設定画面が表示されます。



ワンポイント

ほかにも名前から探す「50音・名称」や郵便番号から探す「郵便番号」などの方法もあります。詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「地図の呼び出し方法」を参照してください。



ワンポイント

- 探索されるルートは目的地周辺までの参考ルートです。必ずしも最短ルート・早く行けるルート・渋滞していないルートではありません。
- 料金は設定したお車の車両寸法など (P.52 参照) から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- 高速道路上に目的地を設定したとき、および高速道路走行中にルートを変更したときは、料金案内は行いません。

ルートの道のりを確認する

行き先を決定し表示された全ルート図表示で、道のりの情報を確認することができます。

1. 全ルート図表示で、「情報」にタッチします。



2. ▲ (または ▼) にタッチします。



- ① 道路名称を表示
 - ② 有料道路の料金を表示
 - ③ 通過予想時刻を表示
 - ④ 距離を表示
- 道路の種別の変り目などで道のりの情報を分割して表示します。
 - 「地図」にタッチするとその場所の地図を表示します。

ルートを決める

ほかのルートを選ぶ

行き先を決定し表示された全ルート図表示で、推奨ルート以外に有料道路優先ルート、一般道優先ルート、距離優先ルート、別ルートの合計 5 ルートを同時に表示して選ぶことができます。

1. 全ルート図表示で、**5 ルート** にタッチします。



5 つのルートを色分けして表示します。

2. **全行程一覧表** にタッチします。



ルート名称にタッチすると選んだルートの全ルート図を表示します。

3. 希望のルート名称にタッチします。



基本条件	全行程	有料道路	料金	所要時間
推奨	565 km	562 km	12300 円	7 時間 24 分
有料優先	565 km	562 km	12300 円	7 時間 24 分
一般優先	526 km	0 km		16 時間 15 分
距離優先	506 km	373 km	不明	8 時間 21 分
別ルート	560 km	481 km	10450 円	7 時間 35 分

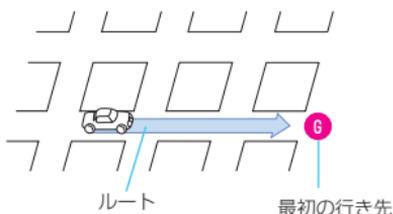
選んだルートの全ルート図を表示します。

ルートの途中に立ち寄り場所を追加する

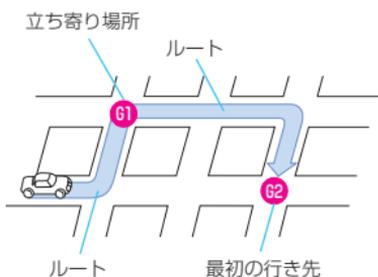
行き先を決定し表示された全ルート図表示で、立ち寄り場所や行き先を追加することができます。

例えば、友人を迎えに行ってから行き先に行くときや、最初に決めた行き先の次に行き先を追加するなど、前もってルートを変更します。

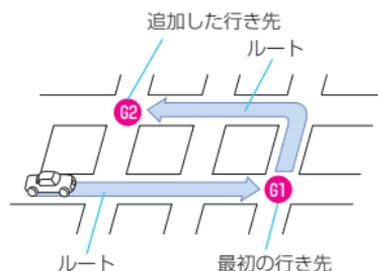
最初に決めたルート



立ち寄り場所を追加する場合



行き先を追加する場合



1. 全ルート図表示で **ルート変更** にタッチします。



2. 目的地・通過目的地の **追加** にタッチします。



3. 立ち寄り場所や追加する行き先の探す方法にタッチします。



行き先の探す方法については「取扱説明書ナビゲーション編」-「地図の呼び出し方法」を参照してください。

4. 呼び出した地図で **目的地セット** にタッチします。



ルートを決める／案内を開始する

5. 追加する区間の**設定**にタッチします。



- 現在地から行き先までの間に設定すると立ち寄り場所になります。
 - 行き先の次に設定すると次の行き先になります。
 - 立ち寄り場所や追加の行き先は最大5カ所まで設定できますので、2～5の手順の操作を繰り返してください。
6. **探索開始**にタッチします。



任意のルートを設定する

行き先を決定し表示された全ルート図表示で、表示されているルートを変更したり、通過道路やインターチェンジを変更することができます。



① ルート変更

表示されているルートを変更することができます。また、行き先の追加や通過道路の指定、インターチェンジ (IC) を変更することができます。詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「探索ルートの変更」を参照してください。

② インターチェンジ (IC) 名称

インターチェンジ (IC) の名称にタッチすると、インターチェンジ (IC) を変更することができます。詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「乗降インターチェンジ (IC) の指定」を参照してください。

ルート案内画面の詳細

車をスタートさせると、車の動きに合わせて交差点・車線情報・道路形状・料金・高速道路情報などを設定された案内ポイントごとに画面を切り替えていきます。また、案内ポイントごとに音声でもわかりやすく案内します。

■ ルート案内中の現在地画面

走行する道路によって案内ポイントごとにいろいろな画面で案内します。

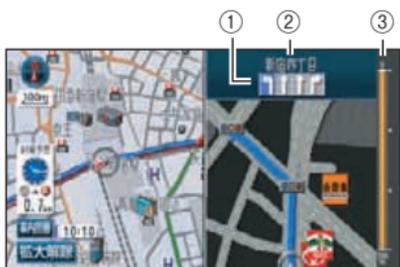
交差点の案内

分岐する交差点の700m手前になると、レーンリストが表示されます。



分岐する交差点までに交差点の名称と車線のレーンを案内します（車線のレーン情報があるときに限ります。）

分岐する交差点の300m手前になると、交差点拡大図が表示されます。



- ① **レーン（車線）表示**
通過・分岐する交差点の車線が表示されます。
- ② **交差点名称表示**
通過・分岐する交差点の名称が表示されます。

③ 残距離表示

交差点までの距離が表示されます。（交差点に近づくとともに
 が短くなります。）

分岐しない交差点に近づいた場合



- ① **レーン（車線）表示**
通過・分岐する交差点の車線が表示されます。
- ② **交差点名称表示**
通過・分岐する交差点の名称が表示されます。

高速道路の案内

高速道路走行中の表示



インターチェンジやジャンクションの1km手前になると分岐の案内が表示されます。



- ① **道路名称表示**
走行中の道路名称が表示されます。

案内を開始する

② 施設名称表示

施設 (SA・PA・IC) の名称が表示されます。

③ 距離表示

現在地からの距離が表示されます。

④ 通過予想時刻表示

選んだ施設 (SA・PA・IC) の通過予想時刻が表示されます。

⑤ VICS マーク・表示

VICS 情報が受信されたとき、表示されます。VICS マーク・表示については、P.47 を参照してください。

⑥ 設備マーク表示

選んだ施設 (サービスエリア・パーキングエリア) にある設備が最大7つまで表示されます。(設備が多い場合、表示されないマークもあります。)

⑦ 分岐点名称表示

インターチェンジの出口、またはジャンクションの方面名称が表示されます。

⑧ 残距離表示

分岐点までの距離が表示されます。(分岐点が近づくとともに  が短くなります。)

案内画面の操作について

・、または施設名にタッチすると、選ばれる施設が切り替わります。



料金所や道路形状情報の案内

道路形状の情報があると、道路形状の警告マークが表示されます。



料金所に近づくと、料金が表示されます。



① 道路形状表示

踏切	
急カーブ	
合流道路	
レーン	

道路形状表示の警告マークが表示されます。

② 料金表示

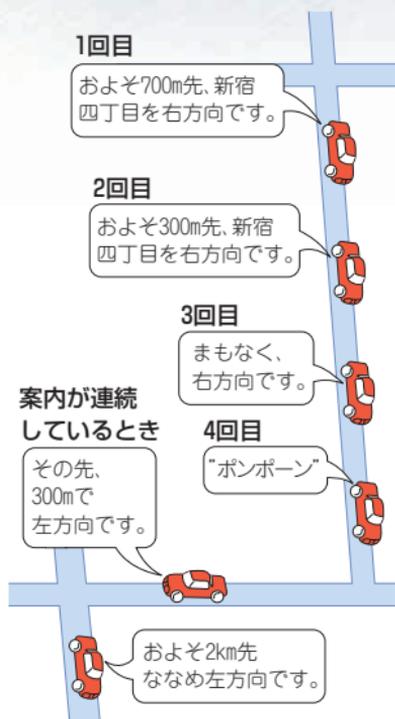
使用する有料道路の料金が表示されます。

■ 音声によるルートのご案内

ルートのご案内中は、道路の状況や車の速度に応じて、案内ポイントまでの距離などを音声でわかりやすく案内します。

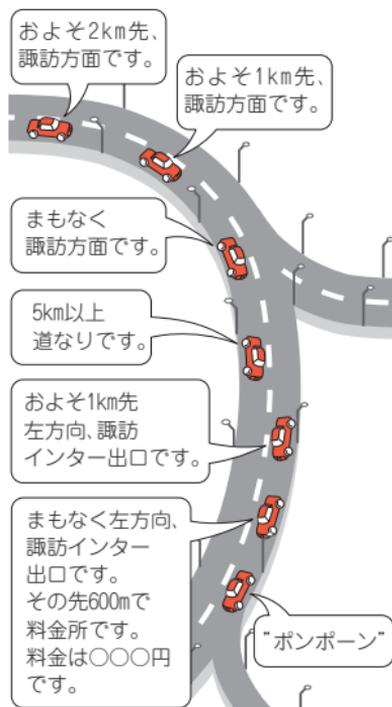
一般道路を走行しているとき

車の速度に合わせ、交差点名や残りの距離、方向および目印 (4 種類) を最大 4 回までその状況にあわせて、音声で案内します。



高速道路を走行しているとき

インターチェンジやジャンクションのおよそ2km手前になると、音声で進行方向や方面を案内します。また、出口の料金所では料金と進行方向を音声で案内します。



案内を開始する

1. 全ルート表示で、案内開始にタッチします。
 - 現在地の画面が表示され、「〇〇〇〇を通るルートです。実際の交通規制にしたがって走行してください。」の音声案内されます。
2. 運転を開始してください。

案内を途中で中止・再開する

案内を途中で中止したり、中止した案内を再開することができます。

案内を中止する

1. MAIN MENU 画面でナビメニューにタッチします。



2. 案内中止にタッチします。



案内が中止され、地図のルートが消えます。(行き先のGマークは消えません。)

案内を開始する

案内を再開する

1. MAIN MENU 画面で

ナビメニュー にタッチします。



2. 案内再開 にタッチします。



案内が再開され、地図にルートが再び表示されます。

行き先を消去する

設定した行き先を消去することができます。また、ルート通りに行き先に着いても設定したGマークは消えませんので、下記の操作で消去してください。(ただし、新しく行き先を設定すると、前のGマークは消去されます。)

1. MAIN MENU 画面で 目的地 にタッチします。

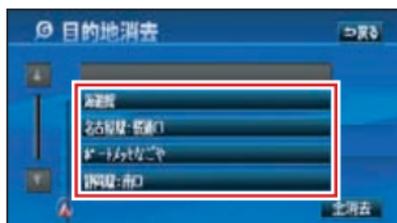


2. 目的地消去 にタッチします。



行き先が1つのときは4の手順を操作します。

3. 消去する行き先の名称にタッチします。



全てを消去するときは全消去にタッチします。

4. はい にタッチします。



行き先を全て消去したときは、現在地を表示します。

5. 探索開始 にタッチします。



行き先が残っているときは残った行き先の全ルート図を表示します。

6. 案内開始 にタッチします。



MAP を1秒以上押ししても目的地設定画面が表示されます。

地図の向きを変える

表示している地図の向きをノースアップ（つねに北が上になるような地図で表示されます）とヘディングアップ（車の進行方向がつねに上になるような地図で表示されます）に切り替えることができます。

方位マーク（、または）にタッチすると、地図の向きが切り替わります。

ノースアップ表示



ヘディングアップ表示



地図の表示方法を変える

いろいろな状況に応じて地図の表示を変えることができます。

地図の表示方法には下記の4種類があります。

2D	通常の地図（2D）で表示されます
2D ツイン	左右2つに分割した地図（2D）で表示されます
3D	上空から見ているような立体的な地図（3D）で表示されます
3D ツイン	画面を左右2つに分割して左画面に立体的な地図（3D）で表示されます

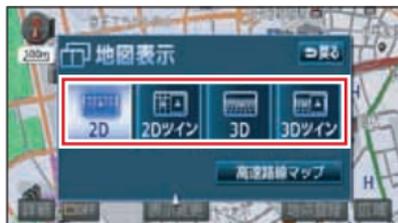
1. **表示変更** にタッチします。



2. **地図表示** にタッチします。



3. 希望の表示方法にタッチします。



案内を開始する

2D



地図にいろいろな施設のマークを表示する

表示している地図にいろいろな施設のマーク（ランドマーク）を表示することができます。

1. **表示変更** にタッチします。



2. **周辺施設** にタッチします。



3. 表示する施設名にタッチします。



- 選んだ施設ランドマークが表示されます。
- 複数のランドマークや画面の6種類以外を表示することもできます。詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「施設の表示」を参照してください。

2D ツイン



3D



3D ツイン



ワンポイント

画面を左右2分割したときの右画面も操作することができます。詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「2画面表示の切り替え」を参照してください。

渋滞情報を表示する (VICS 機能)

突然の渋滞や事故、道路工事などで道路が混雑している場所や通行止めの位置などを確認することができます。

さらに混雑・渋滞を矢印で色分けして表示するので、ひとめで把握することができます。これが VICS 機能です。

VICS機能の表示には、「文字表示」、「図形表示」、「地図表示」があります。

文字表示



図形表示



地図表示



渋滞情報を確認するには (VICS 機能)

VICS機能を表示するには次の手順で操作してください。

各手順の詳細は、後述の 1) ~ 4) を参照してください。

文字表示の場合

VICS の周波数を合わせ VICS 放送局を受信する。詳細は 1) 参照

VICS 情報を文字で表示する。詳細は 2) 参照

図形表示の場合

VICS の周波数を合わせ VICS 放送局を受信する。詳細は 1) 参照

VICS 情報を図形で表示する。詳細は 2) 参照

地図表示の場合

VICS の周波数を合わせ VICS 放送局を受信する。詳細は 1) 参照

表示する VICS 情報の内容を選ぶ。詳細は 3) 参照

VICS 情報を表示する道路を選ぶ。詳細は 4) 参照

※放送局については「取扱説明書ナビゲーション編」-「VICS 提供放送局の選択」を参照してください。

1) VICS 放送局を受信する

1. MAIN MENU 画面で

ナビメニュー にタッチします。



2. VICS にタッチします。



案内を開始する

3. FM 多重チューナー設定の

VICS にタッチします。

CD 情報 が選択されているときは、VICS 情報を受信できない場合があります。

4. VICS 選局 にタッチします。



5. マニュアル にタッチします。



- 初期状態ではオートに設定されていますので、自動で VICS 放送局を受信します。
- 通常はオートで使用できます。オートで使用する場合は 8 の手順を操作します。
- VICS 放送局を受信すると『受信中』を表示します。

6. エリアから選ぶときは都道府県にタッチします。

周波数から選ぶときは、

TUNE ▼ または TUNE ▲ にタッチします。



受信すると『受信中』を表示します。

7. 完了 にタッチします。



8. MAP を押します。現在地を表示します。



2) VICS 情報を文字・図形で表示する

1. MAIN MENU 画面で

ナビメニュー にタッチします。



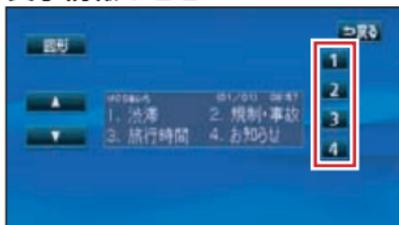
2. VICS にタッチします。



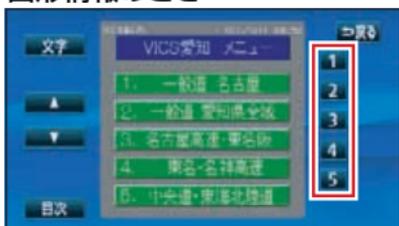
3. **FM文字**、または**FM図形**にタッチします。



4. 表示する番号にタッチします。
文字情報のとき



図形情報のとき



5. **▲・▼**、または**自動送り**にタッチして表示を切り替えます。
文字情報のとき



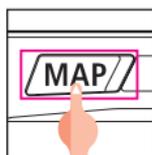
文字情報のとき、図形情報に切り替える場合は**図形**にタッチします。

図形情報のとき



図形情報のとき、文字情報に切り替える場合は**文字**にタッチします。

6. **MAP**を押します。
現在地を表示します。



3) VICS 情報の内容を選ぶ

1. **表示変更**にタッチします。



2. **VICS・交通データ**にタッチします。



3. **表示設定**にタッチします。



案内を開始する

4. VICS の表示する内容にタッチします。



渋滞・混雑 渋滞・混雑情報の表示
空き道 空いている道の情報の表示

規制情報 事象・規制情報の表示

駐車場 駐車場情報の表示

道路種別表示 道路種別を色分けして表示

設定時の道路色：

高速道・有料道は紫、国道は赤、主要地方道路は緑、県道は橙色で表示

非設定時の道路色：

VICS 対象一般道を緑、VICS 対象高速道を紫、それ以外を灰色で表示

5. **完了** にタッチします。



4) VICS 情報を表示する道路を選ぶ

1. **表示変更** にタッチします。



2. **VICS・交通データ** にタッチします。



3. 表示する道路の種類にタッチします。



- **非表示** にタッチすると VICS 情報は表示されません。
- VICS 情報を表示すると、道路の色が変わります。

VICS 画面の見方について



- ① **駐車場、SA・PA 情報**

駐車場やサービスエリアの情報が表示されます



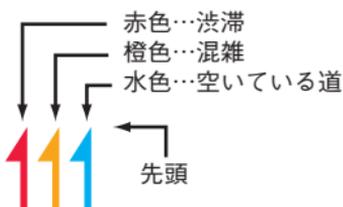
- ② **タイムスタンプ**

VICS 情報を受信した時刻が表示されます

VICS 情報を受信中のとき

VICS 情報を未受信のとき

- ③ **渋滞情報**



■ 地図に表示される VICS 表示マークについて

VICS 情報の中で使用されるマークの代表的な例を示します。

表示	情報内容	表示	情報内容
	事故		駐車場 空
	故障車		駐車場 満
	路上障害		駐車場 混雑
	注意		駐車場 不明
	注意 (地震警戒宣言)		駐車場 閉鎖
	工事		対面通行
	火災		車線規制
	雨		徐行
	凍結		入口閉鎖
	雪		大型通行止め
	作業		入口規制
	通行止め		出口規制
	右折禁止		速度規制 30 km /h
	左折禁止		SA PA 情報 空
	直進禁止		SA PA 情報 満
	片側交互通行		SA PA 情報 混雑
	チェーン規制		SA PA 情報 不明
	進入禁止		SA PA 情報 閉鎖
	イベント		

- 表示されるマークは実際と異なることがあります。また、複数の規制を代表して1つのマークで表示することがあります。
- 凡例の色は印刷インクの関係で、実際の色とは異なって見えることがあります。

各種設定画面を見る

車の情報 (ナンバープレートの分類、車両寸法) を登録する

お車のナンバープレートの分類や車両寸法を登録しておくとお案内時の料金の計算や、施設周辺の駐車場を探すときの基準となります。(行き先を指定しているときは、お車の情報を登録できません。)

1. MAIN MENU 画面で

ナビメニュー にタッチします。



2. 各種設定 にタッチします。



3. その他 にタッチします。



4. 車両情報設定 の変更する にタッチします。



行き先が設定されていると、タッチできません。

5. ナンバープレートの分類

(1 ・ 3 ・ 5 ・ 7 ・ 軽) にタッチします。



6. 車両寸法の - ・ + にタッチして入力し、完了 にタッチします。



7. MAP を押し

ます。現在地を表示します。



時計を表示する

GPS 時計を地図画面に表示することができます。

1. MAIN MENU 画面で

ナビメニュー にタッチします。



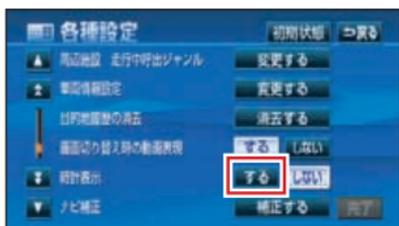
2. 各種設定 にタッチします。



3. その他 にタッチします。



4. 時計表示の する にタッチします。



5. 完了 にタッチします。



時計表示



画面の下に時計が表示されます。



時計表示の時刻は、GPS 電波を利用していますので、時刻調整はできません。(自動調整)

各種設定画面を見る

ナビゲーションの音量を調整する

操作の手引きを説明する音声やルート案内中に聞こえる音声の音量を調整することができます。

1. MAIN MENU 画面で

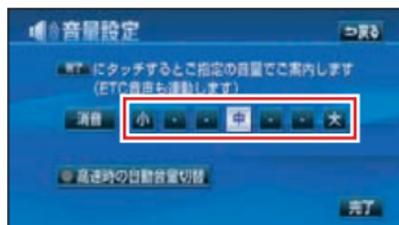
ナビメニュー にタッチします。



2. 音量設定 にタッチします。

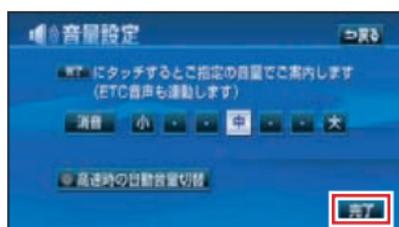


3. 希望の 小～大 にタッチします。



消音 にタッチすると、音声案内などが聞こえなくなります。

4. 完了 にタッチします。



ワンポイント

パネルスイッチで音量の調整（ラジオの音量調整など）をしても、ナビゲーションの音量は変わりません。

画面を非表示にする

ナビゲーションを使わないときなどに地図画面を非表示にすることができます。

1. MENU を長く(1 秒以上) 押して、画質調整画面を呼び出します。
2. 画面消 にタッチします。



画質調整画面からはコントラストや明るさなどが調整できます。詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「画面の調整」を参照してください。

3. MAP を押すと、ナビゲーションの画面にもどります。



現在地を補正する

本機は基本的に、地図の自車位置マークがずれても、しばらく走行すると、マップマッチングやGPS情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。(場合によっては、数分程度かかることがあります)GPS情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。

次のようなときは補正を行うことが必要です。

- タイヤを交換したとき…自動補正を行ってください。(距離の補正)

また、次のようなときも補正を行うことができます。

- 実際の現在地と異なる場所に自車位置マークが表示されている(自車位置マークがずれている)とき…自車位置マークの位置と向いている方向を修正することができます。(現在地の修正)
- 走行中、地図の自車位置マークの進み方と、実際の車の進み方が全く違っているとき…自車位置マークの進み方を修正することができます。(距離の補正)

■ 現在地の修正



800m スケール図以下の詳細な地図で補正することができます。

1. MAIN MENU 画面で

ナビメニュー にタッチします。



2. 各種設定 にタッチします。



3. その他 にタッチします。



4. ナビ補正の補正する にタッチします。



5. 現在地修正 にタッチします。



各種設定画面を見る

6.  にタッチして実際の現在地に地図を動かし、**セット** にタッチします。



7. 、または  にタッチして方向を設定し、**セット** にタッチします。



 : 方向を反時計まわりに動かすときにタッチします。

 : 方向を時計まわりに動かすときにタッチします。

距離の補正

自動補正する場合

1. MAIN MENU 画面で **ナビメニュー** にタッチします。



2. **各種設定** にタッチします。



3. **その他** にタッチします。



4. ナビ補正の **補正する** にタッチします。



5. **距離補正** にタッチします。



手動補正を行う場合は、手順 6 で 、 にタッチして「手動補正する場合」の手順を行ってください。

 **ワンポイント** 初期設定は、自動補正モードになっており、走行することにより自動で補正されます。

6. **自動補正** にタッチします。



- 自動補正中はタッチスイッチがトーンダウンします。
- GPS 情報を利用しながら、しばらく走行すると、自動的に補正が終了し、タッチスイッチが明るくなります。



- 補正できないときは、販売店で点検を受けてください。
- 自動補正中は自車位置がずれることがあります。
- 自動補正が終了しても距離補正の学習機能を持っているため、自車位置マーク の進み方が走行状態により、変化することがあります。
- 本機は、GPS と車速信号により、自動で距離の補正（自動補正）をしていますが、自動補正を上回る急激な変化（タイヤを新品に交換したり、本機を別のお車に取り付けたときなど）には、距離の補正が遅れることがあります。この場合は、GPS 電波の受信状態が良好な道路を約 10km 走行してください。

手動補正する場合



- 自動補正中は、手動補正をすることはできません。
- **初期状態** にタッチすると、手動補正の設定が初期設定の状態にもどります。

1. 自車位置マーク の進み方が実際の車の進み方より遅く進むときは (進める)、早く進むときは (遅らせる) にタッチします。

最も進めると 、最も遅らせると の色がトーンダウンし、タッチしても操作できません。

2. **完了** にタッチします。



画面の表示サイズを切り替える

TV や DVD、VTR の表示サイズを切り替えることができます。

1. **設定** にタッチします。



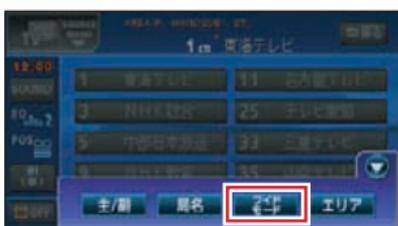
DVD のときは **NEXT** にタッチすると、**設定** が表示されます。

2. **機能** にタッチします。



DVD、VTR のときは、この操作はありません。

3. **ワイドモード** にタッチします。

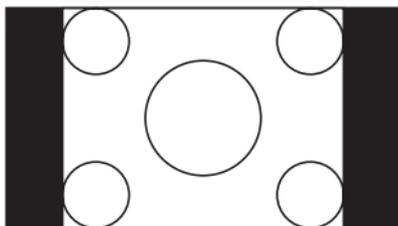


4. 切り替えたいサイズにタッチします。



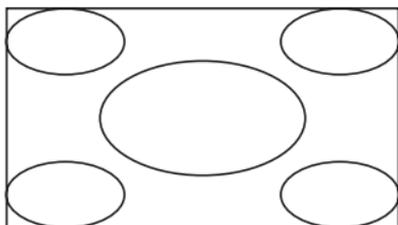
標準画モード

たて 3：よこ 4 の割合の画面（普通の TV 画面の大きさ）で両端が黒く表示されます。



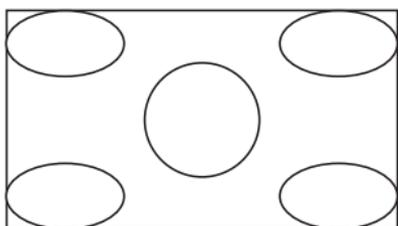
ワイド 1 画モード

たて 3：よこ 4 の割合の画面（普通の TV 画面の大きさ）を左右方向に均等に拡大して表示します。



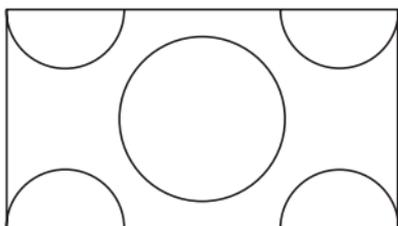
ワイド 2 画モード

たて 3：よこ 4 の割合の画面（普通の TV 画面の大きさ）を上下左右方向に非均等に拡大して表示されます。



ワイド 3 画モード

たて 3：よこ 4 の割合の画面（普通の TV 画面の大きさ）を上下左右方向に均等に拡大して表示されます。



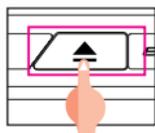


注意

お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

各ディスク (CD、DVD) の出し方

1. ▲ を押します。



2. **DISC** にタッチします。

- 自動でディスクが押し出されます。
- ▲ を約 1 秒間“ピッ”と音がするまで押してもディスプレイは開きます。



3. 取り出し後、**CLOSE** にタッチします。

▲ を約 1 秒間“ピッ”と音がするまで押してもディスプレイ部は閉じます。

オーディオメディアについて



注意

ディスクを取り出す際、以下に注意してください。

< A / T 車 >

ディスクを取り出す際、P レンジで干渉する場合は、N レンジに切り替えてから操作してください。(コラム A / T の場合は P または N レンジで操作してください。)

< M / T 車 >

ディスクを取り出す際、1・3・5・R ポジションで干渉する場合は、ニュートラルに切り替えてから操作してください。

- 各ディスクを取り出すとき、押し出された状態のままディスプレイ部を閉じないでください。傷つけるおそれがあります。
- ディ스플레이部を手で閉じないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ディ스플레이部を開けたとき、ディスプレイ上にコップや缶などの物を置かないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ディ스플레이部にジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください。そのまま放置しておくとも故障するおそれがあります。
- 熱やホコリからディスプレイを保護するため、各ディスクを出し入れするとき以外は、ディスプレイ部を閉じておいてください。

■ 各ディスク (DVD・CD) について



ワンポイント

- DVDビデオおよびCDの差し込み口は同じですので、どちらか一方の使用になります。
- 地図ディスク (DVD-ROM) は使用できませんので差し込まないでください。
- 8cmCDを差し込むときはアダプタを使用しないでください。CDを取り出せなくなるおそれがあります。
- 各ディスクの差し込み途中に、**CLOSE** または **OPEN** を押さないでください。

DVD について

- 右記のマークの付いた DVD ビデオディスクが再生できます。また、DVD ± R/RW (DVD ± Recordable/ReWritable) は、ビデオモードで書き込まれたディスクのみ再生できます。ビデオレコーディング (VR) モードで書き込まれたディスクは再生できません。
- DVD ビデオディスクによっては一部の機能が使用できない場合があります。
- DVD ± R/RW (DVD ± Recordable/ReWritable) は、記録状態やディスクの特性、傷、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。またファイナライズ処理されていない DVD ± R/RW は再生できません。



CD について

- 右記のマークの付いた音楽用 CD や CD-R (CD-Recordable)、CD-RW (CD-ReWritable) が使用できます。詳しくは「取扱説明書オーディオ編」 - 「ご使用になる前に」を参照してください。
- 記憶部分に透明または半透明の部分がある CD、C-thru Disc は、正常に出し入れや再生ができなくなるおそれがありますので使用しないでください。
- CD-R/RW は、記録状態やディスクの特性、キズ、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。またファイナライズ処理されていない CD-R/RW は再生できません。(MP3/WMA は除く)
- CD-TEXT 機能は市販の CD-TEXT 対応 CD のみ対応しています。CD-R や CD-RW では文字が正常に表示されない場合があります。
- CCCD (Copy Control CD) は正式な CD 規格に準拠していないため再生できない場合があります。
- スーパーオーディオ CD (SACD) は、ハイブリッドディスクの CD 層のみ再生できます。
- CD-EXTRA は音楽 CD として再生することができます。
- Mixed Mode CD のデータトラックの音声は再生されません。音楽トラックのみの再生となります。
- Video-CD は再生できません。



オーディオソースを切り替える

オーディオソースを切り替える

■ パネルスイッチで切り替える

1. MAIN MENU 画面で

SOURCE にタッチします。



2. お好みのソーススイッチにタッチします。



オンスクリーン表示画面

- **AM**、**FM**、**DISC** (CD)、**MUSIC JUKE** にタッチすると、タッチしたソースがスクリーン表示 (オンスクリーン表示) されます。
- オンスクリーン表示は自動で消えます。
- **TV**、**DISC** (DVD)、**VTR**、**ワンセグ** にタッチすると、各画面が表示されます。



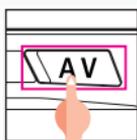
ワンポイント

- **DTV** は別売の地上デジタル TV チューナーが接続されている場合に表示されます。
- **CD CHANGER**、**CD CHANGER2** は別売の CD チェンジャーが接続されている場合に表示されます。
- **MD CHANGER** は別売の MD チェンジャーが接続されている場合に表示されます。
- **DISC** にタッチすると、現在プレーヤーに入っているディスクを再生します。

操作画面を表示させる

1. **AV** を押します。

操作画面が表示されます。



■ タッチスイッチで切り替える

SOURCE 画面を呼び出して、別のオーディオソースに切り替えることができます。

1. オーディオ操作画面、または DVD・TV・ワンセグ・VTR 設定画面で、SOURCE MENU 呼び出しスイッチにタッチします。

SOURCE MENU呼び出しスイッチ



2. お好みのソーススイッチにタッチします。



- タッチしたオーディオソースの操作画面が表示されます。
-  にタッチすると、もとの操作画面にもどります。

オーディオソースを切り替える／放送局を選ぶ

AM 操作画面



ワンセグ操作画面



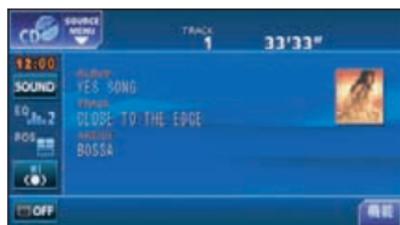
FM 操作画面



DVD 操作画面



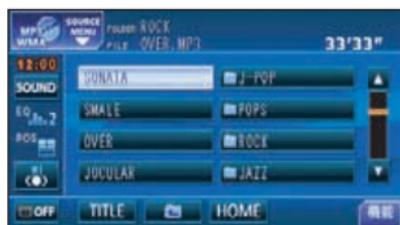
CD 操作画面



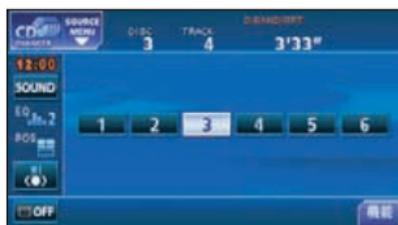
DTV 操作画面 (別売)



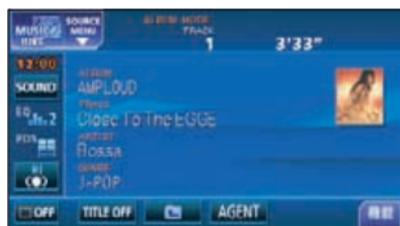
MP3/WMA 操作画面



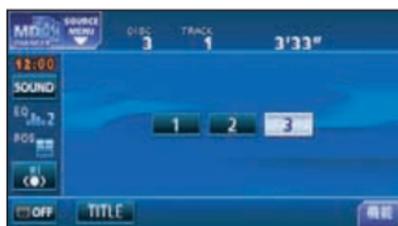
CDチェンジャー操作画面 (別売)



MUSIC JUKE 操作画面



MDチェンジャー操作画面 (別売)



TV 操作画面

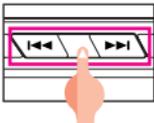


VTR 操作画面



TVの放送局を操作する

よく見る放送局を記憶する

1. **▶▶**、**◀◀** を押します。

 - 手動選局
軽く押すと、1ch ずつ切り替わります。
 - 自動選局
"ピッ"と音がするまで押すと、自動で選局します。
2. プリセットスイッチを " ピーッ " と音がするまでタッチします。



プリセットスイッチ

プリセットスイッチからチャンネルを選ぶときは、見たいチャンネルにタッチし、**決定**にタッチします。

受信可能な放送局を一時的に記憶する

AUTO プリセット機能を使う

受信可能な放送局を探して、一時的にプリセットスイッチに記憶させる機能です。必要が無くなれば、簡単にもとの記憶させていた放送局に切り替えることができます。

1. **AUTO.P** を " ピーッ " と音がするまでタッチします。

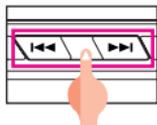


もう一度 **AUTO.P** にタッチすると、もとの記憶されていたチャンネルに表示が切り替わります。

ラジオの放送局を操作する

よく聞く放送局を記憶する

1.  を押します。



・ 手動選局
軽く押すと、1 ステップずつ切り替わります。

・ 自動選局
"ピッ"と音がするまで押すと、自動で選局します。

2. プリセットスイッチを " ピーッ " と音がするまでタッチします。



プリセットスイッチ

プリセットスイッチにタッチすると、記憶させた放送局に切り替わります。

受信可能な放送局を一時的に記憶する

AUTO プリセット機能を使う

受信可能な放送局を探して、一時的にプリセットスイッチに記憶させる機能です。必要が無くなれば、簡単にもとの記憶させていた放送局に切り替えることができます。

1. **機能** にタッチします。



2. **AUTO.P** を "ピーッ" と音がするまでタッチします。



機能スイッチ

- ・ もう一度、**AUTO.P** にタッチすると、もとの記憶されていた放送局に表示が切り替わります。
- ・  にタッチすると、機能スイッチを収納します。
- ・ 機能スイッチを表示している場合は、機能スイッチ以外のタッチスイッチ操作はできません。

二ヶ国語同時放送の音声を切り替える

音声多重放送を受信しているときに、主音声や副音声を切り替えることができます。

1. **設定** にタッチします。



2. **機能** にタッチします。



3. **主/副** にタッチします。



- にタッチすると、機能スイッチを収納します。
- 機能スイッチを表示している場合は、機能スイッチ以外のタッチスイッチ操作はできません。

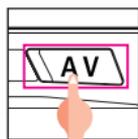


二ヶ国語同時放送を受信したときは、 が表示されます。

音質を変える (イコライザ)

1. **AV** を押します。

操作画面が表示されます。



2. **SOUND** にタッチします。



TV、ワンセグ、VTR のときは **設定** に、DVD のときは **NEXT**、**設定** の順にタッチすると **SOUND** が表示されます。

3. **EQ** にタッチします。



設定されているイコライザカーブを選択する

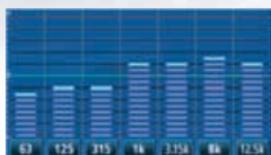
4. **EQ1** ~ **EQ5** にタッチします。



- **戻る** にタッチすると、設定は記憶され、前に表示していた画面にもどります。

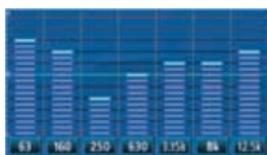
音について操作する

EQ1



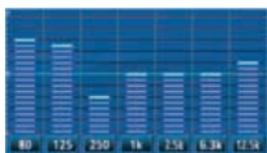
高域を強調したパターン

EQ2



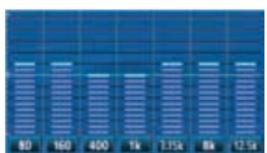
低域高域を強調したパターン

EQ3



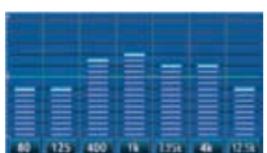
低域を強調したパターン

EQ4



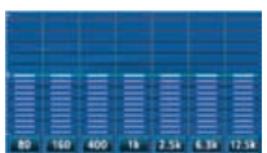
低域高域を少し強調したパターン

EQ5



ボーカル帯域を強調したパターン

FLAT



EQ 補正なし

■ イコライザカーブを作成する

- 各バンドの周波数にタッチして、調整したい周波数（中心周波数）を選択します。



各バンドの周波数にタッチすると中心周波数が切り替わります。

バンド	中心周波数
80	63 → 80 → 100
160	125 → 160 → 200
400	250 → 315 → 400 → 500
1k	630 → 800 → 1k → 1.25k
2.5k	1.6k → 2k → 2.5k → 3.15k
6.3k	4k → 5k → 6.3k → 8k
12.5k	10k → 12.5k → 16k

- 指で、調整したい周波数レベルの高さにタッチし、Q1、Q2、Q3のいずれかにタッチして、Qカーブパターンを選択します。



スイッチ	Qカーブパターン
Q1	緩い（帯域幅：広い）
Q2	中間（帯域幅：中間）
Q3	鋭い（帯域幅：狭い）

6. EQ1～EQ5を“ピーツ”と音がするまでタッチします。



タッチしたタッチスイッチに作成したイコライザカーブが記憶されます。

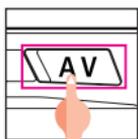
4. ポジション（シート）にタッチします。



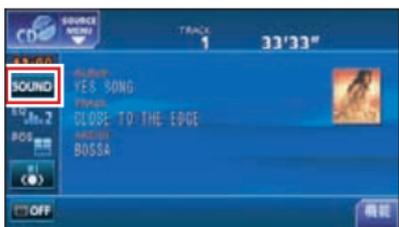
戻るにタッチすると、設定は記憶され、前に表示していた画面にもどります。

座席に合わせて音場の中心を変える

1. AV を押します。
操作画面が表示されます。



2. SOUND にタッチします。



TV、ワンセグ、VTR のときは設定に、DVD のときはNEXT、設定の順にタッチするとSOUNDが表示されます。

3. POS にタッチします。



「前後左右の音量バランスを変える」(P.70) とは、同時に設定できません。

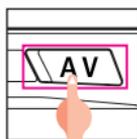
表示	ポジション (位置)
	運転席を中心にした音場
	助手席を中心にした音場
	前席を中心にした音場
	後席を中心にした音場

音について操作する／停止したオーディオソースを再開する

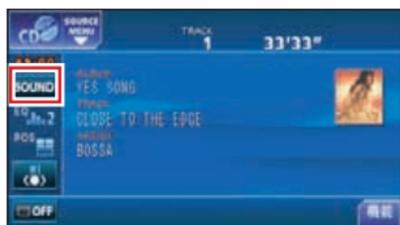
前後左右の音量バランスを調整する

1. **AV** を押します。

操作画面が表示されます。



2. **SOUND** にタッチします。

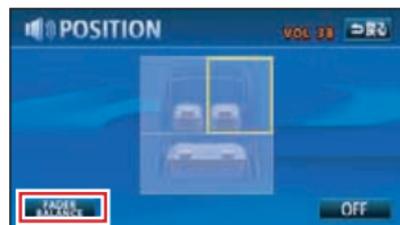


TV、ワンセグ、VTR のときは **設定** に、DVD のときは **NEXT**、**設定** の順にタッチすると **SOUND** が表示されます。

3. **POS** にタッチします。



4. **FADER BALANCE** にタッチします。



5.  内のお好みの場所にタッチします。



戻る にタッチすると、設定は記憶され、前に表示していた画面にもどります。



ワンポイント

「座席に合わせて音場の中心を変える」(P.69) とは、同時に設定できません。

スイッチの操作（“ピッ”）を変える

パネルスイッチを押したときや、画面のタッチスイッチにタッチしたときに“ピッ”と鳴る操作音を変えたり、出なく（消音）することができます。

1. MAIN MENU 画面で **情報** にタッチします。



2. **設定** にタッチします。



設定からはいろいろな調整ができます。詳しくは「取扱説明書オーディオ編」-「基本操作」を参照してください。

3. 操作音設定の1、2、3、4のいずれかを選択し、設定完了にタッチします。



OFFにタッチすると、操作音が出なくなります。(消音)

もう一度、見る・聴く

■ TV・DVD

1. MAIN MENU 画面で

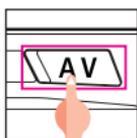
⓪PWR にタッチします。



停止したオーディオソースが再開されます。

- TV の場合
最後に受信していたチャンネルを受信します。
- DVD の場合
最後に再生していた映像を再度再生します。

2. AV を押します。



- TV の場合
テレビの操作画面を表示します。
- DVD の場合
DVD の操作画面を表示します。

■ ラジオ・CD・MP3/ WMA・MUSIC JUKE

1. MAIN MENU 画面で

⓪PWR にタッチします。



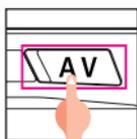
停止したオーディオソースが再開されます。

- ラジオの場合
最後に受信していた放送局を再受信します。
- CD・MP3/WMA の場合
最後に再生していた曲または音楽ファイルを再度再生します。
- MUSIC JUKE の場合
最後に聴いていたトラック(曲)の停止したところから再生を始めます。

映像を操作する (一時停止 / 停止 / スロー再生 / コマ送り再生)

再生中の映像を簡単に操作することができます。

1. **AV** を押します、または画面にタッチします。操作画面が表示されます。



2. 操作スイッチにタッチします。

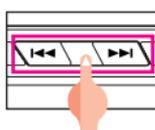


操作スイッチ

一時停止中 (**||**) に **▶▶** に短くタッチすると、スロー再生し、**||** に短くタッチすると、コマ送り再生します。

見たいチャプターを選ぶ

1. **▶▶**、**◀◀** を押します。



ディスクメニューを操作する

本機は、ディスクに収録されているメニューのアイコンに直接タッチしたり、タッチスイッチを操作して、メニューを選択することができます。ディスクに収録されているメニューが自動で表示された場合は、3. の操作をおこなってください。

1. **NEXT** にタッチします。



2. **メニュー**、または **トップメニュー** にタッチします。

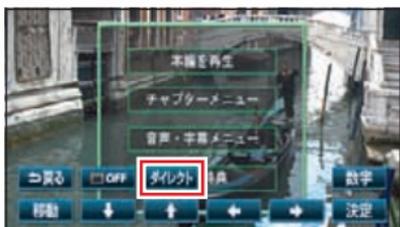


3. **移動** にタッチします。

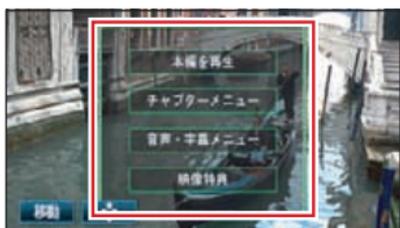


■ メニューのアイコンにタッチして操作する

4. **ダイレクト** にタッチします。

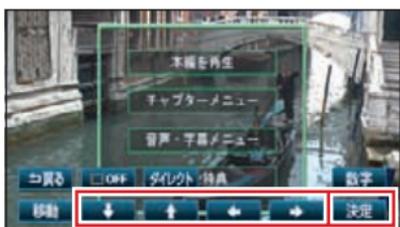


5. メニューのアイコンにタッチします。



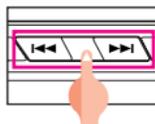
■ タッチスイッチから操作する

4. **↑ ↓ ← →** で、再生したい内容を選択し、**決定** にタッチします。



聴きたい曲または音楽ファイルを選ぶ

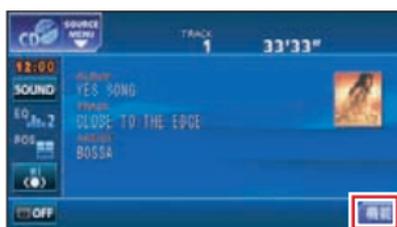
1. **▶▶**、**◀◀** を押します。



CD 再生時は次の曲に切り替わり、MP3/WMA 再生時は次の音楽ファイルに切り替わります。

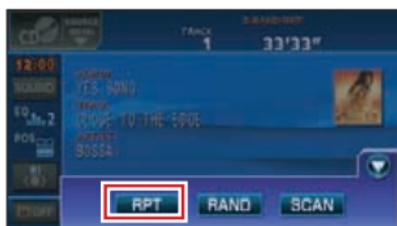
同じ曲を繰り返し再生する

1. **機能** にタッチします。



- 機能スイッチを表示します。
- 操作画面が表示されていない場合は、**AV** を押します。

2. **RPT** にタッチします。



- ▼** にタッチすると、機能スイッチを収納します。
- 機能スイッチを表示している場合は、機能スイッチ以外のタッチスイッチ操作はできません。

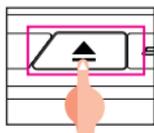
音楽を聴く / MUSIC JUKE を操作する

MP3/WMA を聴く

MP3/WMA を再生する

CD (MP3/WMA ディスク) を準備する

1. ▲ を押します。

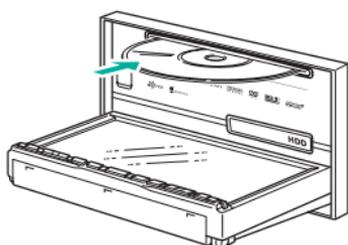


2. TILT・EJECT 画面で、DISC にタッチします



ディスプレイ部が開き、CD の差し込み口が現れます。

3. 差し込み口に CD を差し込みます



CD 差し込み後、ディスプレイ部が自動で閉じ、再生を始めます。

MP3・WMA ソースを選ぶ

すでに CD (MP3/WMA ディスク) が差し込まれている場合は、以下の操作でMP3/WMA ソースを選びます。

1. MAIN MENU 画面で

SOURCE にタッチします。



2. DISC にタッチします。



MP3/WMA の再生が始まります。

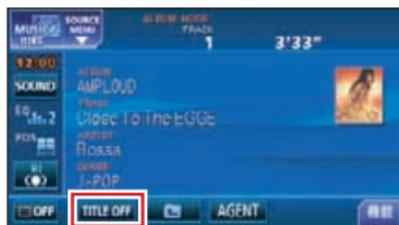
簡単にフォルダや音楽ファイルを選ぶ

音楽データ収録時に、音楽の種類ごとにフォルダで管理すると聞きたい曲を探し出すときに便利です。

1. フォルダ名、または音楽ファイル名のタッチスイッチにタッチします。



TITLE OFF にタッチ ↑ ↓ TITLE にタッチ



- フォルダにタッチすると、フォルダの中に収録されているデータを表示します。音楽ファイルにタッチすると、タッチした音楽ファイルを再生します。
- TITLE にタッチすると、再生している音楽に収録されているファイル情報 (アルバム名や曲のタイトル) を表示することができます。

MP3・WMA ソースを操作する

聴きたい曲を選ぶ

P.73 を参照してください。

同じ曲を繰り返し再生する

P.73 を参照してください。

もう一度 MP3/WMA を聴く

P.71 を参照してください。

CD (MP3/WMA ディスク) を取り出す

P.59 を参照してください。

音量を調整する

音楽に合わせて音質を変える
(イコライザ)

P.67 を参照してください。

座席に合わせて音場の中心を変える

P.69 を参照してください。

前後左右の音量バランスを変える

P.70 を参照してください。

スイッチの操作音を変える

P.70 を参照してください。

録音モードについて

MUSIC JUKE は、内蔵の CD プレーヤーで再生している音楽を録音することができます。

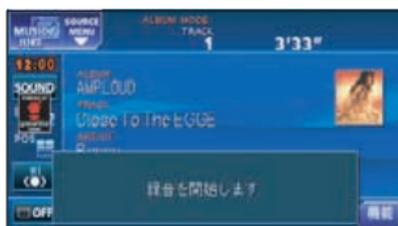
MP3/WMA ファイル、DVD から録音することはできません。

■ CD 再生と同時に自動録音する

本機の初期設定では、音楽 CD を再生すると自動で録音が始まります。

自動録音が始まらない場合は、録音モードを AUTO (自動) に切り替えてから操作してください。録音モードの切り替えについては「録音モードを切り替える」(P.76)を参照してください。

1. 差し込み口に CD を差し込み、ディスプレイ部を閉じます。



- 4 倍速で録音を開始します。スピーカーからは、通常の速さで音声が出力されます。
- 録音が完了すると、自動で録音を終了します。再生は続きます。
- 録音中にソースを切り替えたり、オーディオを OFF にしても録音は継続されます。

MUSIC JUKE を操作する

■ 録音モードを切り替える

録音モードを AUTO (自動) または SELECT (手動) に切り替えます。SELECT (手動) に切り替えると音楽 CD は自動録音されません。

6. **AUTO**、または**SELECT** にタッチします。



7. **戻る** にタッチします。

1. MAIN MENU 画面で

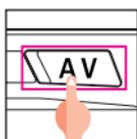
SOURCE にタッチします。



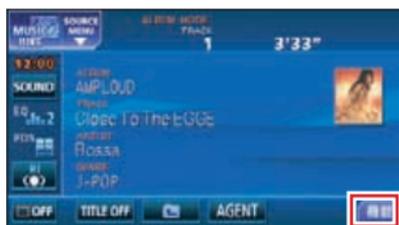
2. **MUSIC JUKE** にタッチします。



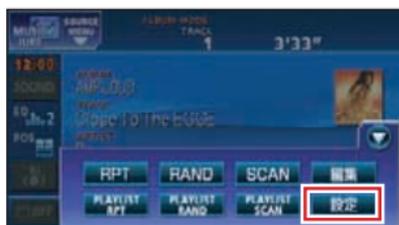
3. **AV** を押します。
操作画面が表示されます。



4. **機能** にタッチします。



5. **設定** にタッチします。



MUSIC JUKE の各種画面について

■ 録音画面の見方

録音中は下記画面が表示されます。



- ① 録音中はアイコンの表示が変わります。

通常再生

録音中



- ② REC マーク

- ③ 進捗バー

- ④ 録音トラック数確認マーク

AUTO の場合：

録音が完了したトラック数 / 音楽 CD の全曲数

SELECT の場合：

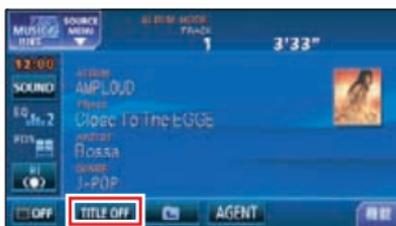
録音が完了したトラック数 / 録音の対象になっている曲数

- ⑤ Retry マーク

録音中に音飛びが発生し、再度録音を開始したときに表示されます。

■ 操作画面の見方

再生画面



TITLE ↑ ↓ TITLE OFF



TITLE : 1 つ上の階層画面を表示します。

AGENT : カテゴリ選択画面を表示します。

機能 : 機能スイッチ表示画面を表示します。

- **設定** : 録音モードの切り替えを行います。
- **編集** : 名称編集やオリジナルプレイリストを作成することができます。

プレイモード選択画面



プレイモードスイッチ
リストが収録されているグループを切り替えるスイッチです。

録音時、データベースの検索が完了していないとき

- アルバム名として NO TITLE 0001 ※¹ のリストを作成
- トラック名として NO TITLE 0001 ※² のリストを作成
 - ※¹ : MUSIC JUKE 内で順に付与される番号
 - ※² : プレイリスト内で順に付与される番号

NO TITLE のトラックを再生しようとする、データベースを検索し、該当する情報がある場合、付与します。

MUSIC JUKE に録音した曲を再生する

■ MUSIC JUKE を再生する

1. MAIN MENU 画面で

SOURCE にタッチします。



2. **MUSIC JUKE** にタッチします。

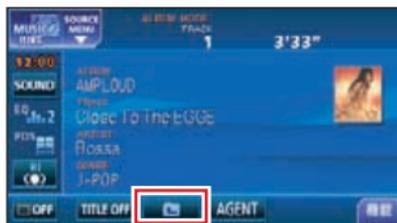


前回、MUSIC JUKE を再生していた場合は、最後に聞いたトラック(曲)の停止したところから再生を始めます。

■ 聴きたいトラック(曲)を選ぶ

ここでは、プレイリストやトラックをリスト表示しながら、聞きたいトラック(曲)を選ぶ方法について説明します。

1. 再生画面で にタッチします。



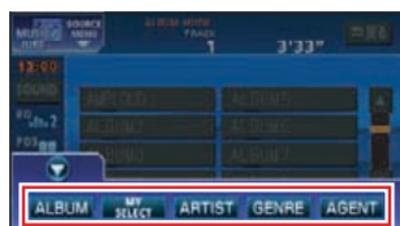
MUSIC JUKE を操作する

2. **PLAY MODE** にタッチします。



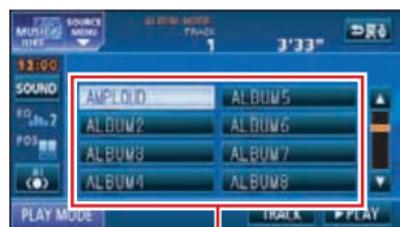
プレイモードのタッチスイッチを表示します。

3. 再生したいプレイモードにタッチします。



▶PLAY にタッチすると、タッチしたプレイモードに収録されている先頭のプレイリストの一番目のトラックから再生を開始します。

4. 再生したいプレイリストにタッチします。



プレイリスト

▶PLAY にタッチすると、タッチしたプレイリストの一番目のトラックから再生を開始します。

5. **TRACK** にタッチします。



6. 聴きたいトラック (曲) にタッチします。



トラック

選んだトラック (曲) の再生画面を表示します。



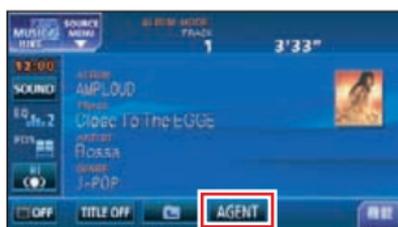
ワンポイント

同じモード内にリストが 9 個以上ある場合は、▲、▼ にタッチすると、リストを切り替えて表示することができます。

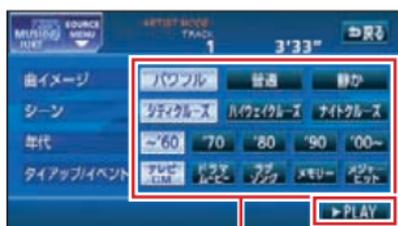
聴きたいトラック (曲) をカテゴリから選ぶ

アルバム名やタイトルなどとは別に、そのときのイメージに合わせて聴きたいトラック (曲) を選ぶことができます。

1. **AGENT** にタッチします。



2. 各カテゴリを選択し、▶PLAY にタッチします。



カテゴリー

選んだカテゴリに該当する曲を再生します。対象となるトラック (曲) は、以下のとおりです。

曲イメージ

パワフル	明るいイメージの曲
普通	普通
静か	暗いイメージの曲

シーン

シティクルーズ	ドライブで聴きたい曲
ハイウェイクルーズ	普通高速道路を走行するときに聴きたい曲
ナイトクルーズ	夜のドライブで聴きたい曲

年代

～ '60	60年代以前の曲
'70	70年代の曲
'80	80年代の曲
'90	90年代の曲
'00～	00年代以降の曲

タイアップ/イベント

テレビCM	TV番組のオープニング / エンディング曲、CMソングなど
ドラマムービー	ドラマ主題歌 / 挿入歌、映画主題歌 / 挿入歌など
ラブソング	ラブソング
メモリー	クリスマスやバレンタインなどにちなんだ曲
メジャーヒット	メジャーヒットした曲

再生を止める

1. MAIN MENU画面で **ⓅPWR** にタッチします。



MUSIC JUKEでアルバムリストを作成する

■ オリジナルプレイリストを作成する

お好みの曲だけを集めたオリジナルプレイリストを作成することができます。

1つのプレイリストには最大99曲を収録することができます。

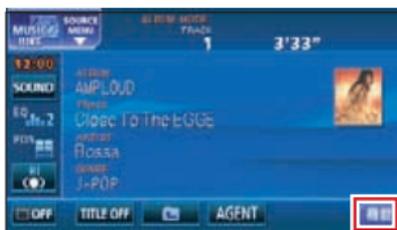
作成したプレイリストは、プレイモードのMY SELECTから探すことができます。



作成したプレイリストには、必ずトラック(曲)を収録してください。プレイリストを作成しても、トラック(曲)が収録されていないと、プレイリストは登録されません。

1. MUSIC JUKEの操作画面で、

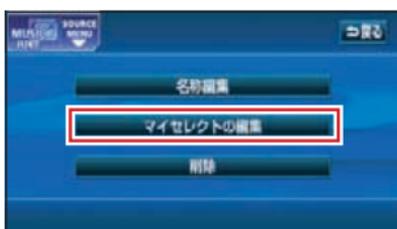
機能 にタッチします。



2. **編集** にタッチします。



3. **マイセレクトの編集** にタッチします。



MUSIC JUKE を操作する

アルバムリストに「私のベストコレクション」というタイトルを付けます。

4. **新規** にタッチします。



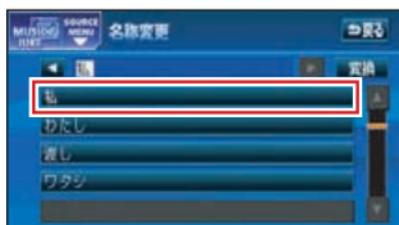
5. **タイトル** にタッチします。



6. **わ、た、し、変換** にタッチします。



7. **私** にタッチします。



8. **の、無変換** にタッチします。



9. **カナ** にタッチします。

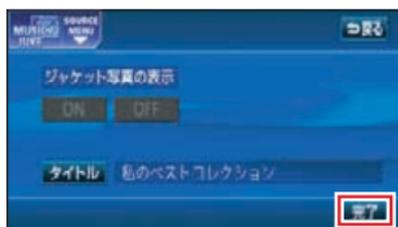


10. **へ、ス、ト、コ、レ、ク、シ、ヨ、ン、完了** の順にタッチします。



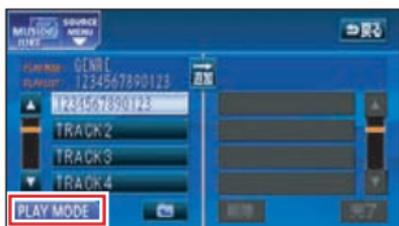
「タイトル」が登録されます。

11. **完了** にタッチします。



プレイリストにトラック（曲）を収録します。

12. **PLAY MODE** にタッチします。



13. 追加したいプレイリストが収録されているプレイモードにタッチします。



14. 追加したいトラック（曲）が収録されているプレイリストにタッチします。



▲、▼ にタッチすると、リストを切り替えて表示します。

15. 収録したいトラック（曲）にタッチします。



- 一度に複数のトラック（曲）を収録する場合は、収録したいトラック（曲）すべてにタッチしてください。
- 完了** にタッチすると、プレイリストを一覧で表示する画面にもどります。

16. **追加** にタッチします。



選んだトラック（曲）を作成したプレイリストの一番最後に追加します。

17. **完了** にタッチします。



作成したプレイリストが登録され、4の画面にもどります。



ワンポイント

MUSIC JUKE は他にもいろいろな編集ができます。詳しくは「取扱説明書オーディオ編」-「MUSIC JUKEの操作」を参照してください。

ESN を操作する

ESN (ECLIPSE Security Network) について

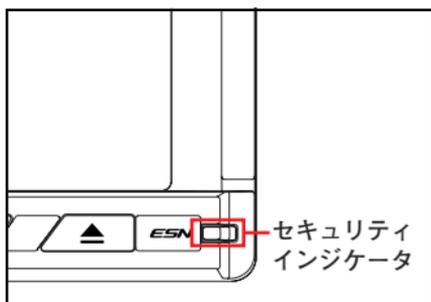
本機は、ESN (ECLIPSE Security Network) 機能を搭載しています。ESN は、バッテリーターミナルをはずし、再度接続した場合に、本機のナビゲーションやオーディオの機能を操作させなくするセキュリティシステムです。ESN を作動させるためには、音楽 CD をキー CD として本機に登録してください。



DVD ディスクや MP3/WMA ディスクをキー CD として登録することはできません。

セキュリティの作動確認

エンジンキーを「OFF」にすると、セキュリティが「ON」のときは、セキュリティインジケータが点滅します。



登録した音楽 CD は、セキュリティの解除のときに必要になります。登録した音楽 CD を忘れたときの確認用にメモなどしておくことをおすすめします。

ESN セキュリティを作動させる

1. MAIN MENU 画面で **情報** にタッチします。



2. **ESN** にタッチします。

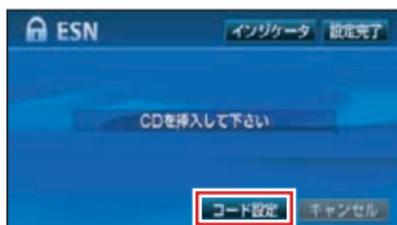


セキュリティを設定する場合、オーディオが「OFF」になります。

3. 音楽 CD をディスク差し込み口に差し込みます。



4. **コード設定** にタッチします。



5. **はい** にタッチします。



セキュリティシステムが「ON」になります。

ESN セキュリティロックを解除する (本機を操作できるようにする)

1. 登録した音楽 CD をディスク差し込み口に差し込みます。



2. **はい** にタッチします。



- 本機との照合が完了すると、セキュリティを解除します。
- 5 回照合できなかった場合、お客様問い合わせ画面を表示します。



- 登録した音楽 CD が違う場合、最大 5 回までセキュリティの解除操作を行うことができます。照合できなかった場合はお客様問い合わせ画面が表示されます。
- お客様問い合わせ画面が表示された場合、本機を操作することはできません。この場合は、お客様相談窓口までご連絡ください。

ESN を操作する

ESN セキュリティシステムを作動させなくする

ESN セキュリティを作動させなくします。

再度セキュリティシステムを作動させる場合はもう一度、音楽 CD を登録してください。

1. MAIN MENU 画面で **情報** にタッチします。

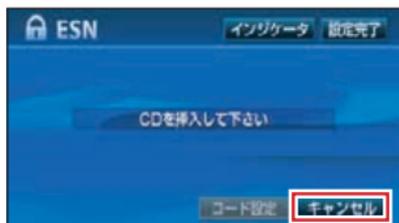


2. **ESN** にタッチします。

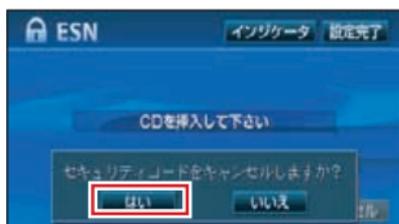


セキュリティを設定する場合、オーディオが「OFF」になります。

3. 音楽 CD をディスク差し込み口に差し込み、**キャンセル** にタッチします。



4. **はい** にタッチします。



本機との照合が完了すると、セキュリティシステムは作動しなくなります。

セキュリティインジケータの表示を設定する

ESN セキュリティを作動させているときに点滅するセキュリティインジケータの表示を切り替えることができます。

1. MAIN MENU 画面で **情報** にタッチします。



2. **ESN** にタッチします。



セキュリティを設定する場合、オーディオが「OFF」になります。

3. **インジケータ** にタッチします。



 本機に音楽 CD が登録されていないとインジケータの表示を「ON」に設定できません。

凡例

表示①…リアルワイドマップ画面 表示②…通常地図画面

表示①	表示②	内容	表示①	表示②	内容
		高速・都市高・有料道路			空港・飛行場
		国道			学校
		主要道			幼稚園
		県道			病院・医院
		その他の道路 (巾5.5m 以上)			電力会社・発電所
		その他の道路 (巾3.0m 以上)			電話局
		トンネルまたは整備計画区間 (上記各道路で表示あり)			銀行・信用金庫・農協
		私鉄			デパートなど
		JR			ホテル・旅館など
		水域			ビル
		都道府県界			工場
		緑地			灯台
		駅舎・敷地			神社
		踏切			寺院
		ボトルネック踏切※			教会
		官公庁			霊園・墓地
		都道府県庁			城・城跡
		市役所・東京23 区役所			名所・観光地など
		町村・東京以外区役所			ゴルフ場
		警察署			スキー場
		消防署			海水浴場
		郵便局			アイススケート場
		インターチェンジ			マリナー・ヨットハーバー
		サービスエリア			陸上競技場・体育館
		パーキングエリア			キャンプ場
		信号機			公園
		駐車場			温泉
		駅			山
		道の駅			その他の施設
		フェリーターミナル			
		港湾			

※列車が頻繁に通過するため、通過するのに時間がかかる踏み切り。

●表示されるマークの位置は実際と異なることがあります。

また、複数の施設を代表して1つのマークで表示することがあります。

●VICs情報表示中は、道路の色が異なります。(対象一般道：緑、対象高速道：紫)

商品のアフターサービスに関するお問い合わせは、お買い求めの販売店またはお客様相談窓口までお願い致します。

富士通テン株式会社「お客様相談窓口」

 0120-022210

受付時間 午前10:00～12:00、午後1:00～5:00
(土・日・祝日などを除く)

富士通テン株式会社

〒652-8510 神戸市兵庫区御所通1丁目2番28号
電話 神戸 (078) 671-5081



Trademark of American Soybean Association

この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

この説明書は、再生紙を使用しています。
©富士通テン株式会社 2006

090002-30310700
0611K(N)